取扱説明書 - 日本語

FUJITSU

FUJITSU Software ServerView Suite

ServerView Integration Pack for Tivoli TEC

2010 年 6 月版

製品名称の表記

本書では、本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter Microsoft® Windows Server® 2008 Foundation Microsoft® Windows® Small Business Server 2008 Standard Microsoft® Windows® Small Business Server 2008 Premium	Windows Server 2008	Windows
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation Microsoft® Windows® Web Server 2008 R2	Windows Server 2008 R2	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition for Itanium-based Systems Microsoft® Windows® Small Business Server 2003	Windows Server 2003	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 x64	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition Microsoft® Windows® Small Business Server 2003 R2 Microsoft® Windows® Storage Server 2003 R2, Standard Edition	Windows Server 2003 R2	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 R2 x64 または Windows Server 2003 R2	

製品名称	本文中の表記	
Red Hat Enterprise Linux 5	Red Hat Linux	Linux
	RHEL5	
Red Hat Enterprise Linux AS（v.4）	RHEL4	
Red Hat Enterprise Linux ES（v.4）		
SUSE Linux Enterprise Server 11	SuSE Linux	
	SuSE Linux SLES11 または SLES11	
SUSE Linux Enterprise Server 10	SuSE Linux SLES10 または SLES10	
VMware ESX 4	ESX4	VMware
VMware ESX 3.5	ESX3.5	

著作権および商標

Copyright © 2010 Fujitsu Technology Solutions GmbH.

All rights reserved

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

BrightStor, ARCserve は、CA, Inc の登録商標です。

VMware、VMware ロゴ、VMware ESXi、VMware SMP および VMotion は VMware,Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

目次

1 ServerView Integration for Tivoli TEC 9

1.1 序章 9
1.2 補足情報 9
1.3 本書の対象者 10
1.4 関連資料 11
1.5 変更履歴 11
1.6 ServerView Suite のマニュアルについて 11
1.7 本書の表記 12

2 はじめに、およびインストール 13

2.1 概要 14
2.2 インストール要件 15
2.2.1 ソフトウェア要件 15
2.2.2 ハードウェア要件 16
2.3 ServerView/Plus バージョン 2.7 のアップグレード 17
2.3.1 ServerView Integration in Tivoli Inventory のアンインストール . 17
2.3.2 ServerView/Plus Module 2.7 for Tivoli のアンインストール 18
2.4 デスクトップからのインストール 19
2.5 コマンド行からのインストール 29
2.6 ServerView Integration in Tivoli Inventory の設定 30
2.7 ServerView Integration for Tivoli TEC のアンインストール . . 30
2.7.1 ServerView Integration in Tivoli Inventory の削除 30
2.7.2 ServerView Integration Pack 2.8 for Tivoli のアンインストール . 31

3 ServerView Integration Module in Tivoli TEC の使用 33

3.1 アイコン 33
3.2 機能 34
3.2.1 ServerView for Tivoli モジュールの起動 34

3.2.2 ServerView の起動 37
3.2.3 MMB Web インタフェースの起動 39

4 Enterprise Console からのイベント管理 41

4.1 設定 41
4.1.1 Tivoli Enterprise Console サーバ 41
4.1.2 富士通サーバ 42
4.2 Tivoli Enterprise Console サーバのセットアップ 42
4.2.1 新規ルールベースの作成 44
4.2.2 既存ルールベースへの追加 45
4.3 SNMP アダプタのインストール／設定 47
4.4 SNMP アダプタの設定解除 50

5 Tivoli Inventory を使用した ServerView インベントリ 53

5.1 Tivoli Inventory を使用した ServerView インベントリデータの概要 53
5.1.1 PRIMERGY_inventory_pm プロファイルマネージャ 54
5.1.2 PRIMERGY_HW_QUERIES クエリライブラリ 55
5.2 ServerView インベントリデータの収集 55
5.2.1 富士通サーバのインベントリプロファイルの調整 57
5.2.1.1 データベースへ結果を保存する 58
5.2.1.2 カスタム MIF ファイルの読み込み 58
5.2.2 富士通サーバのインベントリプロファイルのサブスクライバの定義 59
5.2.3 「PRIMERGY_HW」インベントリプロファイルの配布 59
5.2.4 PRIMERGY_HW を正常に配布するための要件 61
5.3 ServerView インベントリデータの表示 62
5.4 Tivoli 構成リポジトリ 63
5.4.1 ServerView の構成リポジトリテーブルおよびビュー 64
5.4.2 ServerView の構成リポジトリテーブルおよびカラム 66

6 統合される ServerView MIB ファイル 79

7 トラブルシューティング 85

7.1 TEC に ServerView イベントが表示されない 85
7.1.1 サーバをトラップレシーバとして設定する 85
7.1.2 SNMP アダプタとイベントサーバ間の通信 85
7.1.3 SNMP アダプタの設定 86
7.1.4 TEC の設定 86
7.2 SNMP アダプタの設定のエラーメッセージ 86
7.3 クエリ実行時のエラーメッセージ 87
7.4 「Setup TEC Event Server for ServerView」のエラーメッセージ 87

索引 89

目次

1 ServerView Integration for Tivoli TEC

1.1 序章

メインフレームに代わって、独立したサーバによるネットワークシステムの利用が増加したことにより、サーバの集中管理に対する実行計略がますます重要になっています。

本書は、「ServerView Integration Pack for Tivoli TEC」（略して「SV IP Tivoli TEC」）バージョン 2.8 の機能および手順について説明します。ServerView Operations Manager を Tivoli TEC へ統合することで、Tivoli 管理環境のシステム管理機能と一緒に使用できます。ServerView Integration for Tivoli TEC を使うと、マルチプラットフォームのネットワーク全域で、富士通サーバ（PRIMERGY および PRIMEQUEST）を管理できます。

1.2 補足情報

ServerView は、ネットワーク管理プロトコル SNMP（Simple Network Management Protocol）を使用して、ネットワーク環境上で動作します。標準化されたインタフェースの使用により、ServerView と他の管理システム（例：HP OpenView NNM、Microsoft SMS、Novell ManageWise）を簡単に接続できます。さらに、ServerView は、富士通サーバ（PRIMERGY および PRIMEQUEST）を企業規模のネットワーク管理システムへスムーズに統合できます。

ServerView は、ハードドライブ、換気ファン、電源装置、または温度などといった重要なサーバ機能を確認します。パラメータで指定した値を超えた場合やエラーが発生した場合は、対応するメッセージが送信され、必要に応じて設定に従った処置を開始します。

すべての Tivoli/Plus モジュールは一般的なインタフェースを使用するため、システム管理者は一般的なインタフェースの単純さを享受しながら、様々な工程管理アプリケーションを使って、Tivoli システム管理機能を実行できます。Tivoli Enterprise Console はイベント相関のためにさらなる管理機能を提供します。

Windows （2003/2008/XP/Vista）を使用している標準の PC から、サーバ管理ソフトウェアの ServerView を使って、ネットワークにあるすべての富士通サーバを監視できます。

大規模なネットワークのオペレータにとって、サーバ管理は決定的な利点を提供します。

– より信頼性の高いサーバによる生産性の増加
– データ処理インフラストラクチャの自動監視によるコストの削減
– 状態の変化に柔軟に対応できる ServerView による順応的なシステムの拡張
– 簡略化されたエラー分析によるダウンタイムの短縮
– エラー発生時の応答時間の短縮
– ネットワークコンポーネントおよびそのリソースの効果的な活用による総運営コスト（総所有コスト）の削減
– ソフトウェア人間工学による使いやすさ：明解なデータ表示、インテリジェントユーザインタフェース、および支援的なヘルプシステム

1.3 本書の対象者

本書は、サーバ管理ソフトウェア ServerView または MMB コンソールを使って富士通サーバを管理するために ServerView Integration for Tivoli TEC モジュールを使用するシステム管理者を対象としています。

次の知識が必要です。

– Tivoli プラットフォーム（すなわち Tivoli）の操作、および管理。
– OS の運営。ディレクトリ、ファイル、シンボリックリンクなどの概要についてよく理解している必要があります。
– ServerView Operations Manager の操作および管理。ServerView SNMP トラップの設定、および内容。
– PRIMEQUEST およびブレードサーバ MMB Web インタフェースの操作、および管理。

1.4 関連資料

ServerView Integration for Tivoli TEC ユーザガイドに記載されている情報は、Tivoli Framework ユーザガイド、Tivoli ユーザガイド、および Enterprise Console ユーザガイドに記載されている情報を補足するものです。具体的な ServerView Integration for Tivoli TEC モジュールを効果的に使うには、Tivoli Framework に関してよく理解しておいてください。ServerView アプリケーションの資料についても理解しておく必要があります。

ServerView Integration for Tivoli TEC ユーザガイドに記載されている情報を使用する前に、これらのガイドを完全に理解しておいてください。

1.5 変更履歴

本書は、マニュアル「ServerView Integration Pack for Tivoli TEC」2009 年 5 月版の更新版で、ServerView Integration V2.8 for Tivoli TEC V3.9 でのみ有効です。

ServerView Integration V2.8 for Tivoli TEC V3.9 での新機能は次のとおりです。

– ServerView エージェントのバージョン 4.92 をサポートします。

– ServerView バージョン 4.92 の MIB をサポートします。

– 日本語への対応が追加されました。

1.6 ServerView Suite のマニュアルについて

ServerView Suite のマニュアルは、各サーバシステムに付属の ServerView Suite DVD 2 でご覧いただけます。

また、インターネットから無料でダウンロードすることもできます。*http://manuals.ts.fujitsu.com* のリンク「Industry standard servers」からご利用ください。

1.7 本書の表記

本マニュアルでは次の表記が使用されます。

注意	この記号は、人的傷害、データ消失、機材破損の危険性を示しています。
	この記号は、重要な情報やヒントを強調しています。
►	この記号は、操作を続行するために行わなければならない手順を示しています。
斜体	コマンド、ファイル名、およびパス名は *斜体* で表記されています。
固定フォント	システム出力は、固定フォントで表記されています。
太字の固定フォント	キーボードから入力する必要のあるコマンドは、太字の固定フォントで表記されています。
<abc>	山カッコは実数値に置き換えられる変数を囲っています。
[Key symbols]	キーは、キーボード上の該当するキーを表しています。また大文字を入力する必要がある場合は、シフトキーも表示されています。 例 : 大文字 A の場合、[SHIFT] - [A] 2 つのキーを同時に押す必要がある場合は、それぞれのキー記号の間にハイフンが表示されています。

表 1: 本書の表記

マニュアル内の本文や項を参照する場合は、章や項の見出しを参照先として示し、その章や項が始まるページを記載しています。

画面出力

画面出力は使用されるシステムに依存するため、本マニュアルに記載されている画面出力と、ご使用のシステムで表示される画面は異なることがあります。また、利用可能なメニュー項目がシステムによって異なる場合もあります。

2 はじめに、およびインストール

ServerView を Tivoli へ統合することにより、ServerView Operations Manager と Tivoli Framework を一緒に使用できます。またこの統合により、マルチプラットフォームネットワーク上で富士通サーバを集中管理できます。
ServerView Integration for Tivoli TEC は、次の機能を使って富士通サーバを管理します。

– Windows 2000/2003/XP/Vista で、ServerView を起動するためのアイコン
– PRIMEQUEST およびブレードサーバ MMB Web インタフェースを起動するためのアイコン
– ServerView 固有のタスクおよびジョブに対してカスタマイズされた Tivoli Enterprise Console (TEC) イベント
– ServerView 固有のタスクおよびジョブ
– ServerView インベントリデータを収集するためのインベントリプロファイル
– ServerView インベントリデータを表示するためのクエリ

ServerView for Tivoli TEC 機能を操作可能にするには、Tivoli Enterprise Console と Tivoli Inventory アプリケーションの両方をインストールおよび設定する必要があります。

2.1 概要

ServerView for Tivoli TEC モジュールを使って、Tivoli 内で、ServerView SNMP トラップのイベントを統合します。したがって TEC 上で ServerView SNMP トラップを表示できるようになります。

TEC は、配布されたイベントアダプタ、中央イベントサーバ、および配布されたイベントコンソールにより構成されます。

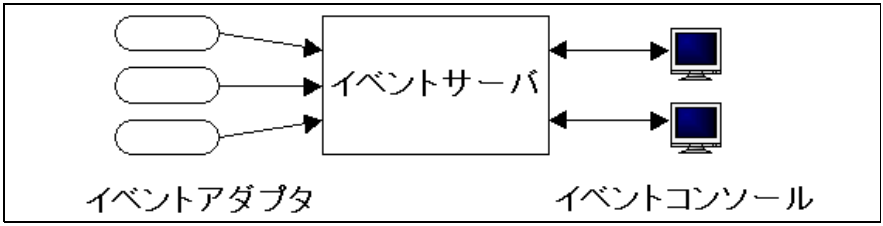


図 1: TEC コンポーネント

Tivoli 内の SNMP アダプタは、ServerView SNMP トラップを識別し、Tivoli イベントクラスへ変換するという方法で、イベント統合を設定します（47 ページの「SNMP アダプタのインストール／設定」の項をご覧ください）。

TEC イベントサーバ上で Tivoli イベントクラス形式を使って、ServerView SNMP トラップが既知に設定され、ServerView 固有のイベントソースが新しく作成されます。ServerView 固有のイベントソースをサブスクライブする TEC であればどこでも、ServerView SNMP トラップを表示できます（42 ページの「Tivoli Enterprise Console サーバのセットアップ」の項をご覧ください）。

PRIMERGY および PRIMEQUEST サーバの ServerView Operations Manager および MMB Web インタフェースを Tivoli デスクトップから起動できます（37 ページの「ServerView の起動」の項および 39 ページの「MMB Web インタフェースの起動」の項をご覧ください）。

Windows では、Tivoli デスクトップから ServerView for Tivoli 「アプリケーション起動」機能を実行して、ServerView S2 または Windows ベースの ServerView フロントエンドを起動できます（37 ページの「ServerView の起動」の項 をご覧ください）。この機能は UNIX に未対応です。

Tivoli Inventory へ ServerView データを統合すると、MIF ファイルとして保存され、ServerView によって認識されたインベントリデータを Tivoli Inventory へインポートできます。データは規定のインベントリスキャンにより Tivoli から収集されます。そして様々な規定のクエリを使ってグラフ表示できます。

その他の規定スキャンは、ServerView により提供されたインベントリデータを収集します。このデータは MIF ファイルとしては保存されません。このデータは Tivoli にも統合されます。

2.2 インストール要件

ServerView for Tivoli を Tivoli Framework へインストールする前に、この項で説明する要件を必ずお読みください。

次の表は、ServerView for Tivoli をインストールするために必要な操作および許可の役割を表します。

アクティビティ	コンテキスト	必要な役割
SV IP Tivoli TEC のインストール	Tivoli	install_product

表 2: 操作および許可の役割

次のサーバへ ServerView Integration Pack をインストールしてください。

– TMR サーバ（Tivoli Managed Region）

– TEC サーバ（Tivoli Enterprise Console）

– Tivoli Inventory サーバ

ServerView Operations Manager はネットワーク内のどのサーバへもインストールできます。

2.2.1 ソフトウェア要件

ServerView for Tivoli を正しく操作するには、次のソフトウェアパッケージが必要です。

– Windows 2003 / Windows 2008 / Windows XP / Windows Vista

– Tivoli Management Framework バージョン 4.1

現在の Tivoli Framework 要件についての情報はリリースノートをご覧ください。

– Tivoli Enterprise Console (TEC) バージョン 3.9

– Tivoli Inventory バージョン 3.6

– ServerView Operations Manager バージョ ン 4.92

ServerView Integration Pack for Tivoli の機能は Tivoli Enterprise Console を使用します。これらのアプリケーションがインストールされていない場合、これらアプリケーションを必要とする特定の機能は動作しません。しかし、後々、不足している製品を購入するのであれば、ServerView for Tivoli インストールを使って、それらの機能を段階的に再インストールできます。

Integration in Tivoli Inventory の設定は別途追加してください。ここでは、Tivoli Inventory がインストールされているかを確認します。Tivoli Inventory は、ServerView/Plus のインストール要件を表示しません。ServerView の統合は、後々 Tivoli Inventory のインストール中いつでも追加できます。

i その他の OS で使用する ServerView for Tivoli についての情報は、readme ファイルをご覧ください。

2.2.2 ハードウェア要件

ServerView for Tivoli に必要なクライアントおよびサーバディスク空き容量の要件を次の表で示します。この容量は、Tivoli Framework および ServerView Operations Manager アプリケーションの空き容量に加えて必要です。

ServerView for Tivoli は TMR サーバ（TMR － Tivoli Managed Region）、Tivoli Enterprise Console サーバ（Tivoli Enterprise Console をお持ちの場合）、および富士通サーバ（管理対象ノード）にインストールされます。すべてのマシンに対する空き容量の要件は同じです。ServerView for Tivoli モジュールは、プラットフォームに依存しないシェルと Perl スクリプトを使用します。このため ServerView の要件はどのプラットフォームでも同じです。

マシン	バイナリ	データベース	メッセージカタログ
TMR サーバ	-	200 KB	-
Tivoli/Plus	3 MB	-	100 KB
管理対象ノード	-	-	-

表 3: ディスク空き容量の要件

さらに、使用する RIM サーバ（RIM ＝ RDBMS インタフェースモジュール、RDBMS ＝リレーショナルデータベース管理システム）のインベントリデータベース内には、管理されているインベントリクライアント数（Tivoli Inventory の資料をご覧ください）に応じて、適切な容量が必要になります。

2.3 ServerView/Plus バージョン 2.7 のアップグレード

ServerView/Plus V2.7 がすでにインストールされているシステムでアップグレードするには、以前のバージョンを完全に削除してください。次のとおりに削除します。

– ServerView Integration を Tivoli Inventory から削除します（17 ページの「ServerView Integration in Tivoli Inventory のアンインストール」の項をご覧ください）、

– ServerView/Plus module V2.7 for Tivoli を削除します（18 ページの「ServerView/Plus Module 2.7 for Tivoli のアンインストール」の項をご覧ください）。

2.3.1 ServerView Integration in Tivoli Inventory のアンインストール

ServerView Integration in Tivoli Inventory を完全にアンインストールするには、次のコマンドをコマンドプロンプト画面で入力します。

```
%WINDIR%\system32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.cmd
bash %BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\
PLUSunconfig inventory.sh
```

既存の ServerView インベントリデータはすべて削除されます。Inventory データベースのテーブルおよびビューに関しても同様です。

2.3.2 ServerView/Plus Module 2.7 for Tivoli のアンインストール

ServerView/Plus module 2.7 for Tivoli を完全にアンインストールするには、次のコマンドをコマンドプロンプト画面で入力してください。

手順 1

```
%WINDIR%\system32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.cmd
bash %BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\
PLUSunconfig.sh
```

手順 2

次のコマンドを入力して ServerView/Plus プログラムを削除します。

```
del %BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\*.*
del %BINDIR%\..\..\msg_cat\C\SERVERVIEW*
```

手順 3

プログラムのアンインストールが正常に完了したら、次のコマンドを入力して Tivoli Object Database のエントリを消去します。

```
wchkdb -u
```

前述のアンインストールルーチンは「Collection TivoliPlus」および「Plus Module Support/Link Binary-3.0.o」コンポーネントを削除しません。これらコンポーネントは他の Plus モジュールで使用されているためです。

2.4 デスクトップからのインストール

この項で説明するインストールタスクは、システム管理者権限でのみ実行できます。したがって、システム管理者としてログインしてください。

Tivoli デスクトップから ServerView Integration for Tivoli TEC をインストールするには、次のとおりに行います。

手順 1

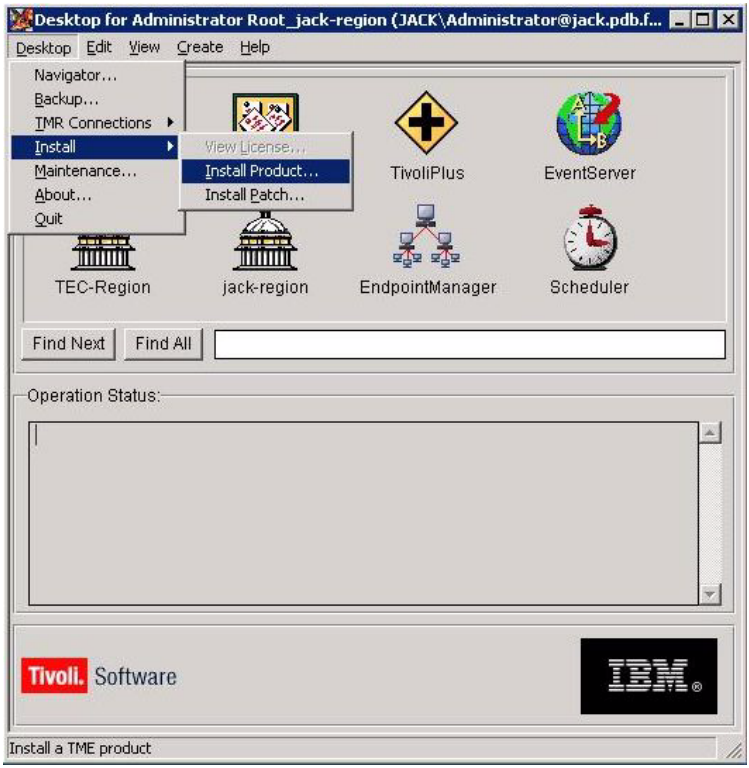


図 2: 「Install Product 」画面の展開

「Desktop」 メニューから、「Install」 →「Install Product ...」 の順にオプションを選択し、「Install Product」 画面を表示します。

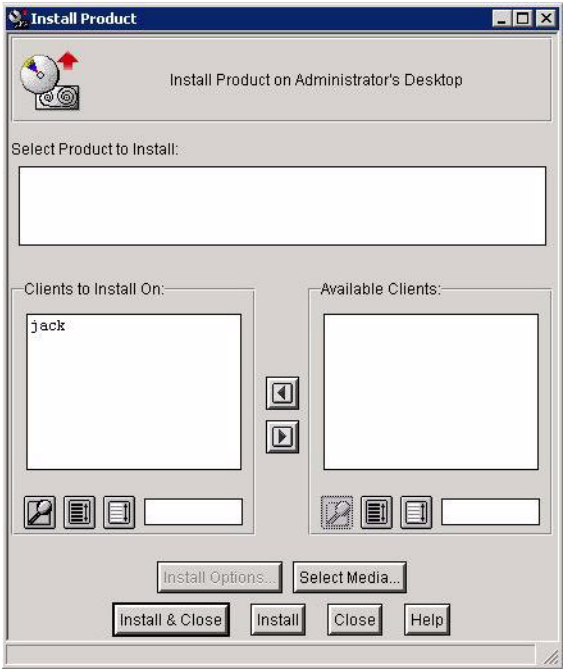


図 3: 「Install Product 」画面

ServerView for Tivoli TEC モジュールが、「Select Product to Install 」スクロールリストに一覧表示されている場合は、*手順 5* へ進みます。表示されていない場合は、*手順 2* へ進みます。

手順 2

「Select Media...」ボタンをクリックし、「File Browser 」画面を表示します。

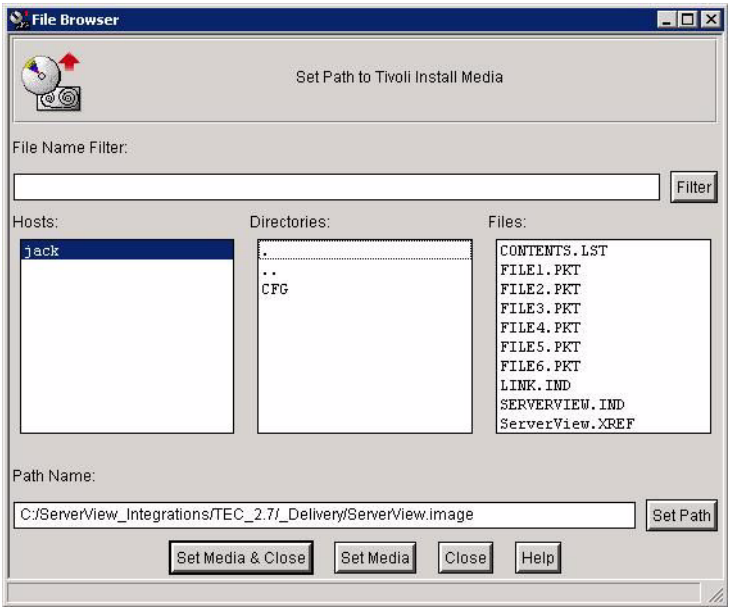


図 4: 「File Browser」画面

「File Browser 」画面では、インストールメディアのパスを識別し指定できます。

ソフトウェアイメージはネットワークドライブ、ローカルファイルシステム、または CD-ROM に存在していれば問題ありません。

手順 3

イメージのパスが分かる場合は、次のとおり行います。

手順 3.1

「Path Name」フィールドに完全なパスを入力します。

手順 3.2

「Set Path」ボタンをクリックし、指定したディレクトリへ変更します。

手順 3.3

「Set Media & Close」ボタンをクリックし、新しいメディアパスを保存します。そして、「Install Product」画面へ戻ります。画面にはインストールできる製品の一覧が表示されます。

手順 4

イメージの正確なパスが分からない場合は次のとおり行います。

手順 4.1

「Hosts」スクロールリストから、インストール媒体が入っているホストを選びます。この操作はホストのディレクトリを表示している「Directories 」スクロールリストをアップデートします。

手順 4.2

ディレクトリスクロールリストから、インストール媒体が入っているディレクトリを選びます。

手順 4.3

「Set Media & Close」ボタンをクリックして新しいメディアパスを保存し、「Install Product」画面へ戻ります。画面にはインストールできる製品の一覧が表示されます。

手順 5

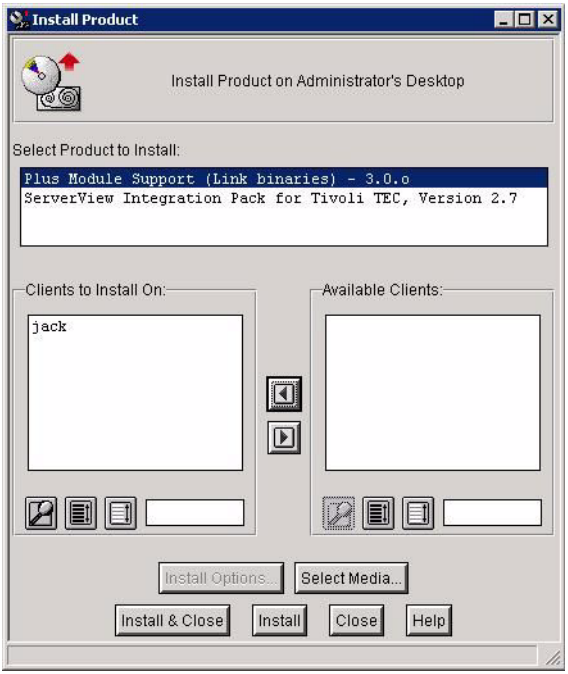


図 5: 「Install Product 」画面上の Plus Module Support（Link バイナリ）- 3.0.o

手順 3 または 4 を行った後、「Install Product」画面にインストールできる製品の一覧が表示されます。「Select Product to Install 」リストで、「Plus Module Support (Link バイナリ) - 3.0.o」を選択します。

手順 6

「Install」ボタン、または「Install & Close」ボタンをクリックし、モジュールをインストールします。
「Install」ボタンをクリックすると、「Install Product 」画面はインストール完了後も開いたままです。その後、ServerView Integration for Tivoli TEC を他のクライアントにインストール、または他の製品をインストールできます。
「Install & Close」ボタンをクリックすると、「Install Product 」画面はインストール完了後に閉じます。
「Close」ボタンをクリックすると、「Install Product 」画面はモジュールをインストールせずに閉じます。

「Product Install 」画面に従って、インストール処理を進めます。
次に例を示します。

Product Install
Product Install
Inspecting node jack...
Installing Product: Plus Module Support (Link binaries) - 3.0.o
Unless you cancel, the following operations will be executed:
For the machines in the independent class:
hosts: jack
jack already has the Link Class Message Catalogs installed (from tt600).
jack already has the Link Class Executables installed (from tt600).
For the machines in the w32-ix86 class:
hosts: jack
nothing to do for this portion.

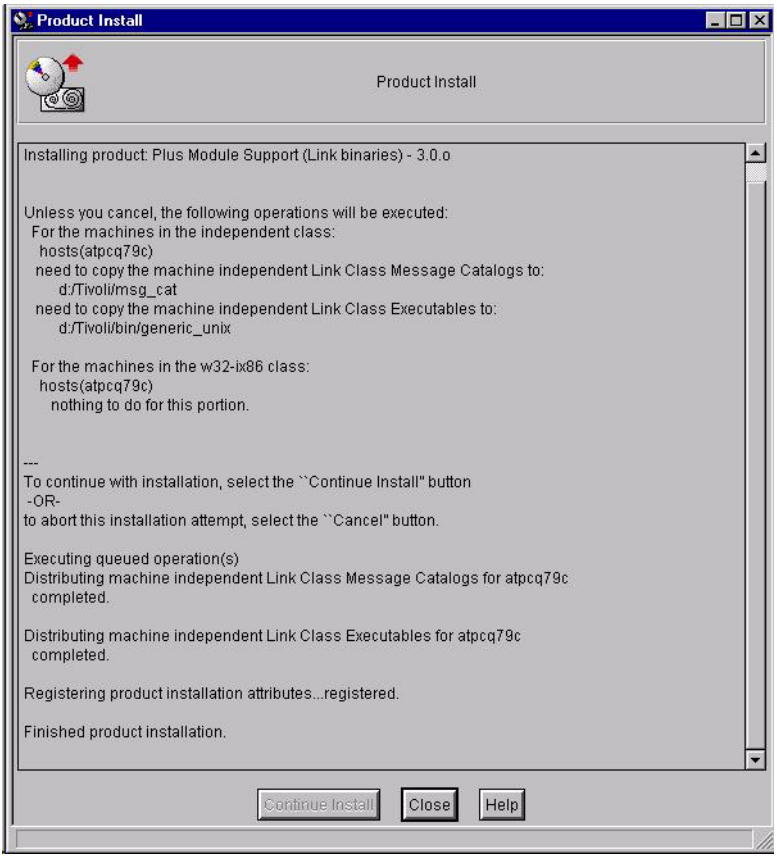
To continue with installation, select the ``Continue Install" button
-OR-
to abort this installation attempt, select the ``Cancel" button.
Continue Install
Cancel
Help

図 6: Plus Module Support をインストールする前の「Product Install 」画面

ソフトウェアをインストールする際に行う操作の一覧が、この画面に表示されます。また、ServerView for Tivoli TEC モジュールをインストールする前に修正した方がよい問題も警告されます。

手順 7

「Continue Install」ボタンをクリックし、インストール処理を始めます。
インストールが完了すると、「Product Install」画面に次のような完了のメッセージが表示されます。


Product Install
Product Install
Installing product: Plus Module Support (Link binaries) - 3.0.o
Unless you cancel, the following operations will be executed:
For the machines in the independent class:
hosts(atpcq79c)
need to copy the machine independent Link Class Message Catalogs to:
d:/Tivoli/msg_cat
need to copy the machine independent Link Class Executables to:
d:/Tivoli/bin/generic_unix
For the machines in the w32-ix86 class:
hosts(atpcq79c)
nothing to do for this portion.

To continue with installation, select the ``Continue Install" button
-OR-
to abort this installation attempt, select the ``Cancel" button.
Executing queued operation(s)
Distributing machine independent Link Class Message Catalogs for atpcq79c
completed.
Distributing machine independent Link Class Executables for atpcq79c
completed.
Registering product installation attributes...registered.
Finished product installation.
Continue Install
Close
Help

図 7: Plus Module Support (Link binaries)-3.0.o インストール後の「Product Install」画面

または、「Cancel」ボタンをクリックし、インストール処理を中止します。

手順 8

インストールの完了メッセージが「Product Install」画面に表示されたら、「Close」ボタンをクリックし、インストール処理を終了します。インストールを開始した方法に応じて（「Install」または「Install & Close」から）、「Install Product 」画面に戻る、またはインストールを閉じます。

手順 9

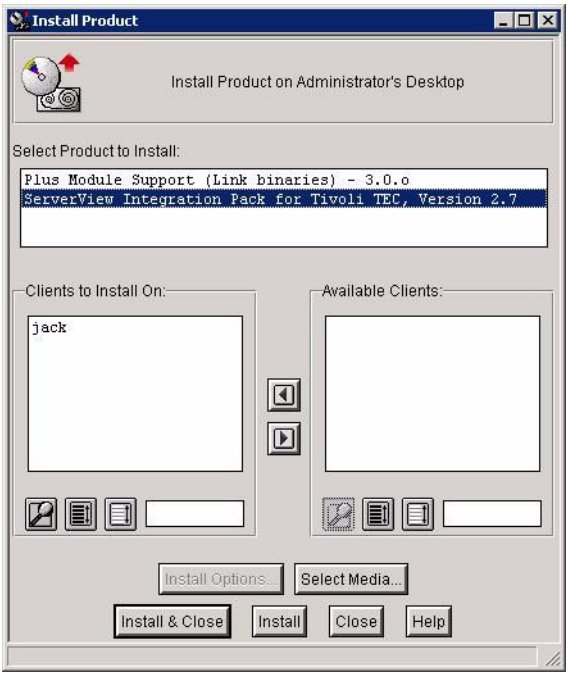


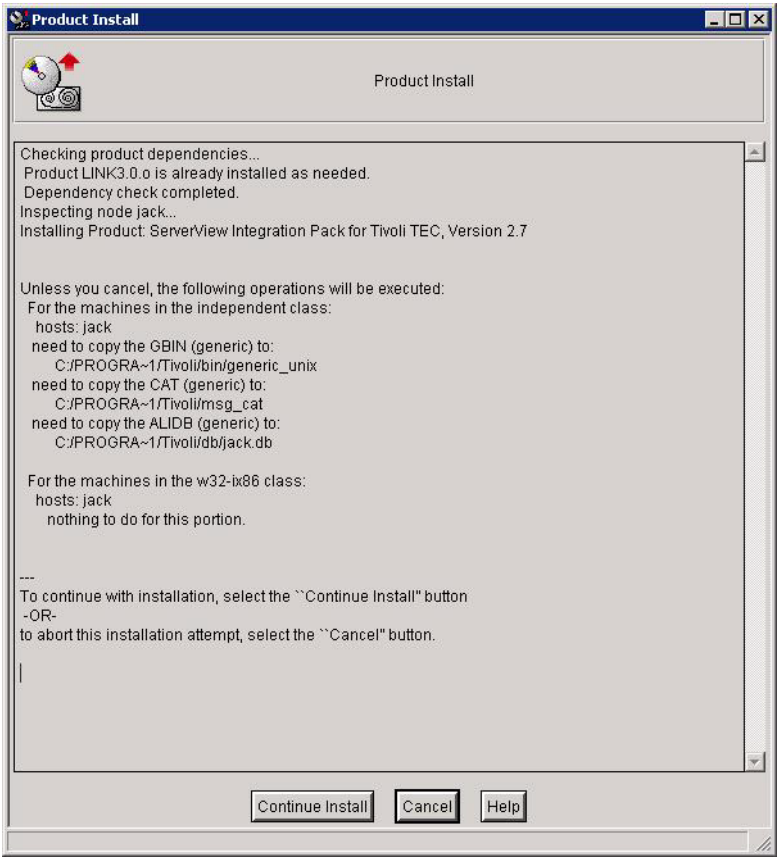
図 8: エントリ ServerView/Plus module for Tivoli

「Select Product to Install 」リストから「ServerView module for Tivoli, Version 2.8」を選択します。

手順 10

「Install」ボタンまたは「Install & Close」ボタンをクリックし、モジュールをインストールします。
「Install」ボタンをクリックすると、「Install Product 」画面はインストール完了後も開いたままです。その後、ServerView Integration for Tivoli TEC を他のクライアントにインストール、または他の製品をインストールできます。
「Install & Close」ボタンをクリックすると、「Install Product 」画面はインストール完了後に閉じます。
「Close」ボタンをクリックすると、「Install Product 」画面はモジュールをインストールせずに閉じます。

「Product Install」画面に従って、インストール処理を進めます。
次に例を示します。


Product Install
Product Install
Checking product dependencies...
Product LINK3.0.o is already installed as needed.
Dependency check completed.
Inspecting node jack...
Installing Product: ServerView Integration Pack for Tivoli TEC, Version 2.7
Unless you cancel, the following operations will be executed:
For the machines in the independent class:
hosts: jack
need to copy the GBIN (generic) to:
C:/PROGRA~1/Tivoli/bin/generic_unix
need to copy the CAT (generic) to:
C:/PROGRA~1/Tivoli/msg_cat
need to copy the ALIDB (generic) to:
C:/PROGRA~1/Tivoli/db/jack.db
For the machines in the w32-ix86 class:
hosts: jack
nothing to do for this portion.

To continue with installation, select the ``Continue Install'' button
-OR-
to abort this installation attempt, select the ``Cancel'' button.
Continue Install
Cancel
Help

図 9: ServerView Integration Pack をインストールする前の「Product Install」画面

ソフトウェアをインストールする際に行う操作一覧が、この画面に表示されます。また、ServerView for Tivoli TEC モジュールをインストールする前に修正した方がよい問題も警告されます。

手順 11

「Continue Install」ボタンをクリックし、インストール処理を始めます。インストールが完了すると、「Product Install」画面は次のような完了メッセージを表示します。

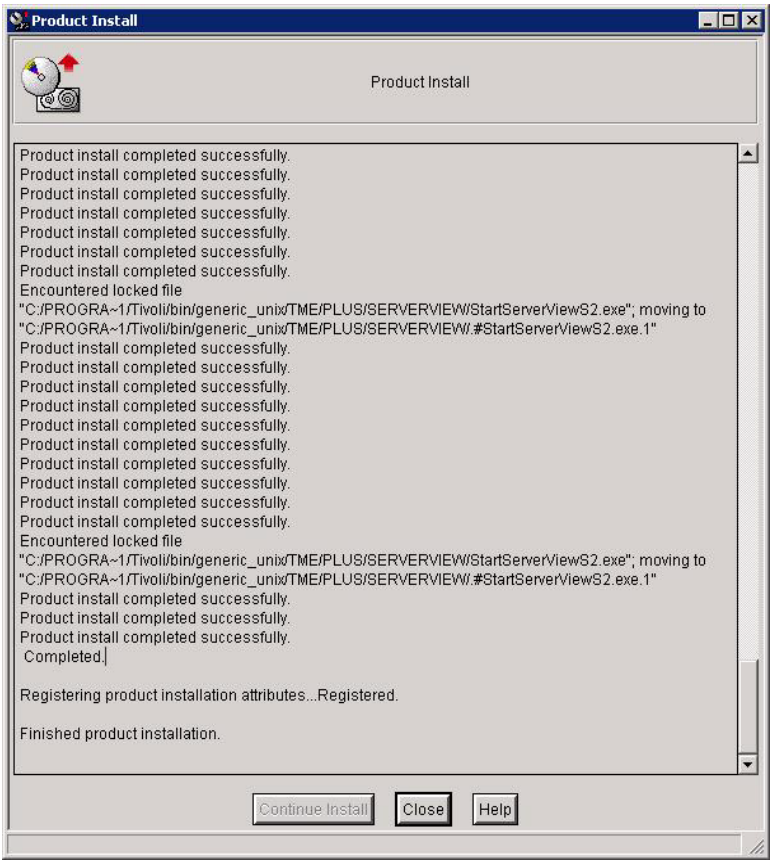


図 10: ServerView Integration Pack インストール後の製品のインストール画面

または、「Cancel」ボタンをクリックし、インストール処理を中止します。

手順 12

製品のインストールの完了メッセージが「Product Install」画面に表示されたら、「Close」ボタンをクリックし、インストール処理を終了します。

2.5 コマンド行からのインストール

この項で説明するインストールタスクは、システム管理者権限でのみ実行できます。システム管理者としてログインしてください。

winstall コマンドを使って、ServerView for Tivoli TEC モジュールをインストールします。

winstall とそのパラメータの構文例：

winstall -c <cdrom_path> **-s** <installation_server> **-i** LINK.IND

または

winstall -c <cdrom_path> **-s** <installation_server> **-i** SERVERVIEW.IND

各パラメータの説明。

-c <*cdrom_path***>**
CD-ROM イメージへのパスを指定します。

-s <*installation_ server***>**
製品をインストールするサーバを指定します。

-i <*index_file***>**
どのインデックスファイルから製品をインストールするかを指定します（例：*LINK.IND* または *SERVERVIEW.IND*）。

2.6 ServerView Integration in Tivoli Inventory の設定

この項で説明する管理手順は、システム管理者権限でのみ実行できます。したがって、システム管理者としてログインしてください。

ServerView Integration in Tivoli Inventory を設定するためには、次のコマンドをコマンドプロンプト画面で入力します。

```
%WINDIR%\system32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.cmdbash
%BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\
PLUSconfig_inventory.sh
```

インベントリデータベースに必要なテーブルおよびビューはすべてここに格納されます。また操作に必要なインベントリプロファイルとクエリも格納します。

Inventory Integration の設定は Tivoli Inventory がインストールされているかを確認します。検出できない場合、インストールを中止します。Tivoli Inventory をあとからインストールする場合は、ServerView Integration の設定をいつでも再実行できます。

2.7 ServerView Integration for Tivoli TEC のアンインストール

この項で説明する管理タスクは、システム管理者権限でのみ実行できます。システム管理者としてログインしてください。

2.7.1 ServerView Integration in Tivoli Inventory の削除

ServerView Integration in Tivoli Inventory を完全に削除するには、次のコマンドをコマンドプロンプト画面で入力します。

```
%WINDIR%\system32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.cmdbash
%BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\
PLUSunconfig_inventory.sh

%WINDIR%\system32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.cmdbash
%BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\PLUSunconfig_invent
ory.sh
```

設定中、インベントリデータベースに格納されていたテーブルとビューすべてを削除します。その結果、存在する ServerView インベントリデータすべてを削除します。

2.7.2 ServerView Integration Pack 2.8 for Tivoli のアンインストール

ServerView Integration Pack 2.8 for Tivoli を完全に削除するには、次のコマンドをコマンドプロンプト画面で入力します。

手順 1

```
%WINDIR%\system32\drivers\etc\Tivoli\setup_env.cmd
bash %BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\
PLUSunconfig.sh
```

手順 2

プログラムファイルを削除したい場合は、次のコマンドを使って行います。

```
del %BINDIR%\..\generic_unix\TME\PLUS\SERVERVIEW\*.*
del %BINDIR%\..\..\msg_cat\C\SERVERVIEW*
```

手順 3

オブジェクトデータベースをクリーンアップするには、次を実行します。

```
wchkdb -u
```

手順 4

ServerView Operations Manager からできるだけレジストリエントリを削除します。ServerView Operations Manager が動作している場合、レジストリにデータが存在するか、次のパスから確認します。
HKLMQ¥SOFTWARE¥Fujitsu¥ServerView Suite¥Tivoli TEC Integration
このパスが存在する場合、レジストリで削除します。削除するには、「スタート」→「ファイル名を指定して実行」→「regedit」からレジストリエディタを起動します。左画面で上記レジストリパスを検索します。「編集」メニュー、または操作メニュー項目「削除」から、パスを削除します。

アンインストール手順は「Collection Tivoli/Plus」または「Plus Module Support /Link Binary - 3.0.o」モジュールのエントリを削除しません。これは他の Tivoli/Plus モジュールでこれらを使用しているためです。

3 ServerView Integration Module in Tivoli TEC の使用

この項で説明する管理および運営タスクは、システム管理者権限でのみ実行できます。システム管理者としてログインしてください。

3.1 アイコン

ServerView for Tivoli アイコンは Tivoli アイコンに似ていますが、モジュール機能の検索と展開をより速く直観的に行うため、機能が改正されています。

ServerView for Tivoli アイコンを有効にする方法には 2 通りあります。

– 左マウスボタンでアイコンをダブルクリックし、開く、または実行します。多くの場合、ダブルクリックは他のダイアログ層を開かずにアクティビティ（タスクなど）を実行します。

– 右マウスボタンを押したまま、アイコンのコンテキストメニューを表示します。

一般的に、それぞれの方法は特定の機能へアクセスするために使用しますが、特定の機能の中には、どちらかの方法でしかアクセスできないものもあります。

次のアイコンは ServerView Integration for Tivoli TEC リソースを表します。

図 11: ServerView アイコン

3.2 機能

ServerView for Tivoli TEC タスクは、Profile Manager（Inventory Integration のために設定される）、または他の Tivoli 製品全般とは若干異なった意味で、プロファイルマネージャという用語を使います。それぞれのタスクにおけるプロファイルマネージャの主な機能はサブスクリプションリストと似ています。実行時にサブスクリプションリストは、タスクおよびジョブを実行するマシンを識別します。サブスクリプションリストは、マシン名または他のプロファイルマネージャを包含できます。サブスクリプションリストへプロファイルマネージャを追加することは、個々に追加する代わりに複数のマシンを同時にサブスクライブする 1 つの方法です。

Tivoli/Plus ユーザガイドは、ServerView for Tivoli TEC でのプロファイルマネージャの機能について詳しく説明しています。詳しくは、Tivoli/Plus ユーザガイドのサブスクライバおよびターゲットの項をご覧ください。

3.2.1 ServerView for Tivoli モジュールの起動

Tivoli/Plus モジュールはすべて、Tivoli デスクトップにある Tivoli/Plus アイコンのコレクションに保存されています。ServerView アイコンは、インストール後このコレクションに追加されます。

次の手順に従って、Tivoli/Plus コレクションに含まれているモジュールを確認します。

手順 1

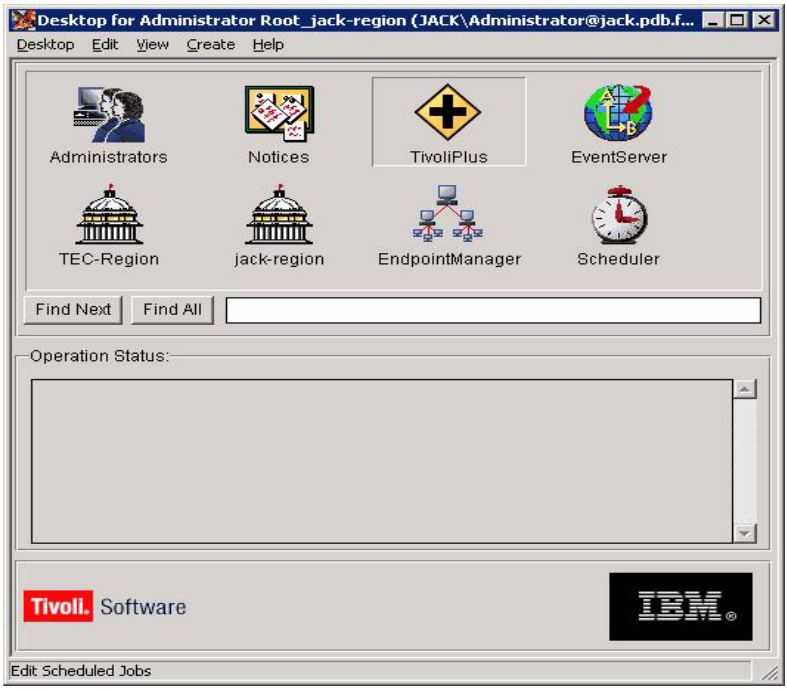


図 12: TME デスクトップ

メイン Tivoli デスクトップから、「TivoliPlus」アイコンをダブルクリック、または TivoliPlus アイコンのコンテキストメニューから「Open...」オプションを選び、「TivoliPlus」画面を表示します。

手順 2

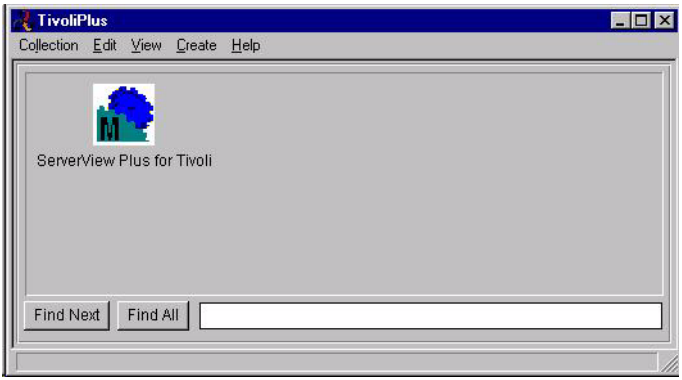


図 13: 「TivoliPlus」画面

「TivoliPlus」画面では、インストールされた各 Tivoli/Plus モジュールのアイコンが表示されます。
「ServerView Plus for Tivoli」アイコンをダブルクリック、または「ServerView Plus for Tivoli」アイコンのコンテキストメニューから「Open...」オプションを選び、ServerView 製品を管理するためのタスクおよびツールを表すアイコンを表示します。

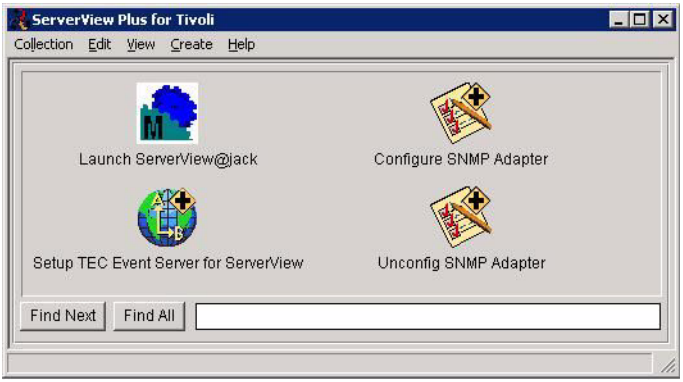


図 14: 「ServerView Plus for Tivoli」画面

ServerView Integration in Tivoli Inventory が設定されていないと、「ServerView Plus for Tivoli」画面上の「PRIMERGY_inventory_pm」および「PRIMERGY_HW_QUERIES」というアイコンは利用できません。

3.2.2 ServerView の起動

ServerView Integration Pack for Tivoli を ServerView 管理サーバにインストールする際、インストール処理は、ServerView アプリケーションを Tivoli 内から起動するためのタスクおよびアイコンを作成します。

Tivoli 管理対象ノードおよび LCF エンドポイント（LCF=Lightweight Client Framework）に対して ServerView 管理コンソールを起動（Tivoli デスクトップより）できます。

「ServerView Plus for Tivoli」画面の次のアイコンから、ServerView Operations Manager を起動します。

図 15: ServerView 起動アイコン

ServerView アイコンをダブルクリックし、ServerView Operations Manager メイン画面を開きます。

ServerView Operations Manager の初回起動

初めて ServerView Operations Manager を起動するとき、画面が表示されます。その画面に次の情報を入力してください。

– ServerView Operations Manager がインストールされているサーバ名

– ServerView Operations Manager のポート番号

– セキュリティで保護された接続（SSL）を使用するかどうかの指示

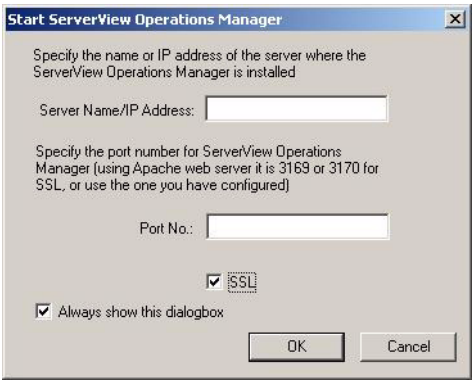

Start ServerView Operations Manager
Specify the name or IP address of the server where the ServerView Operations Manager is installed
Server Name/IP Address:
Specify the port number for ServerView Operations Manager (using Apache web server it is 3169 or 3170 for SSL, or use the one you have configured)
Port No.:
SSL
Always show this dialogbox
OK
Cancel

図 16: ServerView Operations Manager - 必要情報

これらは、*HKLMQ¥SOFTWARE¥Fujitsu¥ServerView Suite¥Tivoli TEC Integration* のレジストリに格納されます。入力が必要なのは、初めて ServerView Operations Manager を起動したときのみです。

ServerView Operations Manager を起動すると、次回より ServerView メイン画面が表示されます。

3.2.3 MMB Web インタフェースの起動

次のアイコンを使用して、Tivoli デスクトップからブレードサーバおよび PRIMEQUEST の Web インタフェースを起動できます。

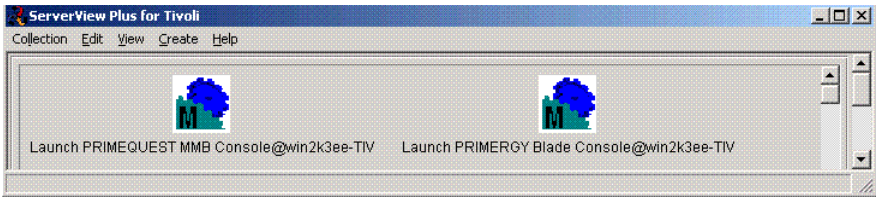

ServerView Plus for Tivoli
Collection Edit View Create Help
Launch PRIMEQUEST MMB Console@win2k3ee-TIV
Launch PRIMERGY Blade Console@win2k3ee-TIV

図 17: MMB Web インタフェースのアイコン

次の画面が表示されたら、MMB の IP アドレスを入力します。

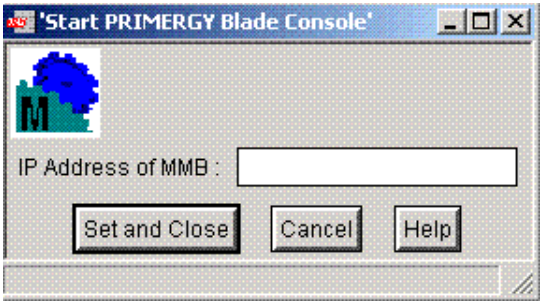


図 18: 「IP Address of MMB」画面

4 Enterprise Console からのイベント管理

Tivoli Enterprise Console （TEC）を使って、ServerView for Tivoli はイベントを識別するためのフィルター式を提供します。イベントとは、システムリソースやアプリケーションの状態に大きな影響を与える変化のことです。ServerView for Tivoli の場合、イベントとは、ServerView または ServerView エージェントが動作しているシステムに影響を与える、監視対象リソースの変化のことです。イベントの例としては、処理の開始および停止、システムへのログイン失敗、サーバが管理不可能となった、などがあります。イベント管理は、特定のイベントに対して規定または自動の対処を行います。これはシステムダウンタイムを引き起こす前に潜在的な問題を識別し、対応できるようにするためです。例えば、処理に失敗した場合、Tivoli Enterprise Console は自動的にその処理を再実行します。Tivoli Enterprise Console は、繰り返し発生している処理の失敗をシステム管理者に通知することもできます。処理の失敗は、アプリケーションまたはネットワークに関してさらに重大な問題を示している可能性があります。イベントのいくつかには、Tivoli Enterprise Console 上にメッセージを表示する以外、自動的な反応を行えないものもあります。

この項で説明する管理および運用タスクは、システム管理者権限でのみ実行できます。システム管理者としてログインしてください。

4.1 設定

次では、ServerView for Tivoli を使用する Tivoli Enterprise Console のセットアップに対して行われる設定アクティビティについて説明します。このアクティビティは Tivoli Enterprise Console および富士通サーバで行われます。ServerView for Tivoli は、ほとんどのセットアップアクティビティを自動的に実行します。

4.1.1 Tivoli Enterprise Console サーバ

次を行うために Tivoli Enterprise Console サーバをセットアップします。

– ServerView イベントの認識および受け入れ

– システム管理者への受信したイベントの通知

詳しくは、42 ページの「Tivoli Enterprise Console サーバのセットアップ」の項をご覧ください。

4.1.2 富士通サーバ

富士通サーバが実行されるノードでは、

– イベントを SNMP アダプタへ送信するように、ServerView エージェントを設定します。

– ServerView イベントを認識し、Tivoli Enterprise Console へ転送するように、SNMP アダプタを設定します。

詳しくは、47 ページの「SNMP アダプタのインストール／設定」の項をご覧ください。

4.2 Tivoli Enterprise Console サーバのセットアップ

この項で説明する手順を使って、Tivoli Enterprise Console が SNMP イベントを受信するようにセットアップします。

「ServerView Plus for Tivoli」画面の「Setup TEC Event Server for ServerView」アイコンから、Tivoli Enterprise Console を設定します。

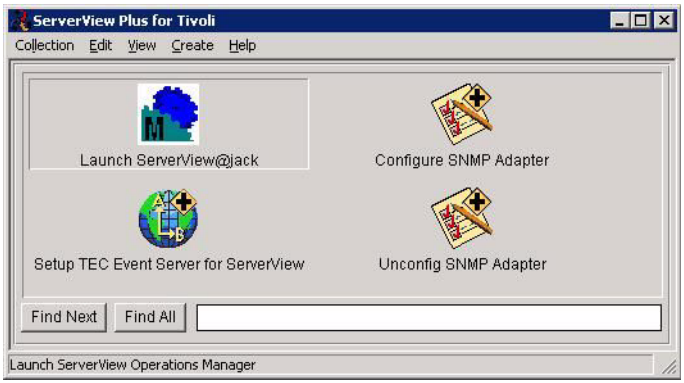


図 19: 「ServerView Plus for Tivoli」画面

手順 1

「Setup TEC Event Server for ServerView」アイコンをダブルクリック、またはこのアイコンのポップアップメニューから「Run job... .」オプションを選択します。この操作で、次の画面が開きます。

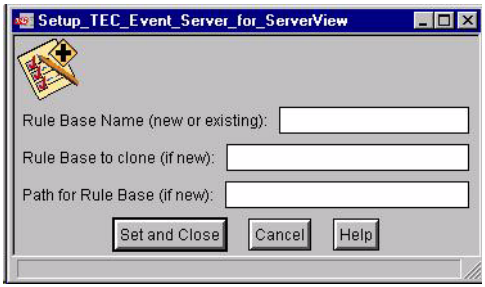


図 20: 「Setup TEC Event-Server for ServerView」画面

手順 2

「Setup TEC EventServer for ServerView」画面を表示すると、Tivoli Enterprise Console をセットアップするため、次の 2 つのオプションが表示されます。

- 新規ルールベースを作成する
  詳しくは 44 ページの「新規ルールベースの作成」の項をご覧ください。
- ServerView Integration 固有ルールを既存ルールベースへ追加する
  詳しくは 45 ページの「既存ルールベースへの追加」の項をご覧ください。

4.2.1 新規ルールベースの作成

次の手順に従い、新規ルールベースを作成し、Tivoli Enterprise Console をセットアップします。

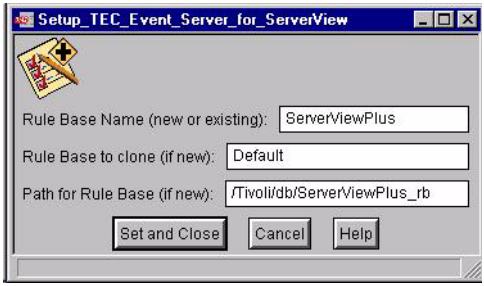


図 21: 新規ルールベースの作成

手順 1

作成したいルールベースの名前を、「Rule Base Name (new or existing)」フィールドに入力します。

手順 2

新規ルールベースは、既存のルールベースをコピー（複製）および修正して、作成します。コピーするルールベース名を「Rule Base to clone (if new) 」フィールドに入力します。ここでは、ディレクトリ名を分けるために（Windows では標準の）バックスラッシュ（\ や ¥）ではなく、フォワードスラッシュ（/）を使用してください。

手順 3

新規ルールベースを作成したい Tivoli Enterprise Console サーバのディレクトリのパス名を「Path for Rule Base (if new)」フィールドに指定します。

TME アドミニストレータの現在のユーザには、このフィールドで指定したディレクトリに対する書き込みアクセス権が必要です。

手順 4

完了したら、「Set and Close 」ボタンをクリックします。

4.2.2 既存ルールベースへの追加

次の手順に従って、ServerView for Tivoli 固有のイベントクラスを既存ルールベースへ追加し、Tivoli Enterprise Console をセットアップします。

図 22: 既存ルールベースへの追加

手順 1

ServerView イベントクラスを含むように修正したい既存ルールベースの名前を、「Rule Base Name (new or existing) 」フィールドに入力します。

手順 2

完了したら、「Set and Close 」ボタンをクリックします。

Tivoli Enterprise Console のセットアップが完了すると、画面は実行タスクからのデバッグ出力を表示します。

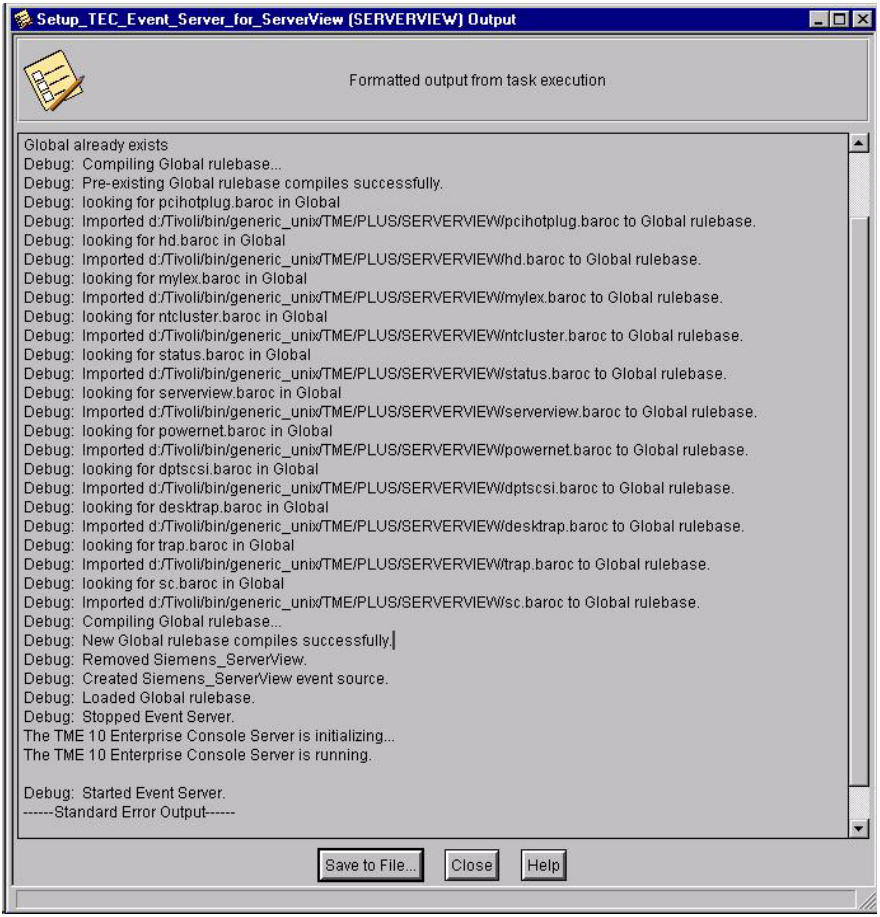


図 23: イベントサーバのセットアップ完了

4.3 SNMP アダプタのインストール／設定

Tivoli Enterprise Console の SNMP アダプタをインストール／設定するには、監視対象のサーバが SNMP トラップを SNMP アダプタへ送信するように設定してください。また、SNMP アダプタがイベントを Tivoli Enterprise Console へ送信するように設定してください。設定するアダプタを実行する富士通サーバは、Tivoli 管理対象ノードまたは LCF エンドポイント（LCF= Lightweigt Client Framework）である必要があります。TME および非 TME アダプタを設定できます。また、複数の富士通サーバに対してアダプタを同時に設定することもできます。

SNMP アダプタを設定する前に、*serverview adapter files* ディレクトリをインストール媒体から TME サーバの一時ディレクトリへコピーしてください。

ServerView の SNMP アダプタを Tivoli Enterprise Console にインストール／設定するには、次のとおり行います。

手順 1

ServerView Plus for Tivoli
Collection Edit View Create Help
Launch ServerView@jack
Configure SNMP Adapter
Setup TEC Event Server for ServerView
Unconfig SNMP Adapter
Find Next
Find All
Configures the TEC SNMP Adapter to forward ServerView traps

図 24: 「ServerView Plus for Tivoli」画面

「ServerView Plus for Tivoli」画面で、「Configure SNMP Adapter」アイコンをダブルクリックします。

手順 2

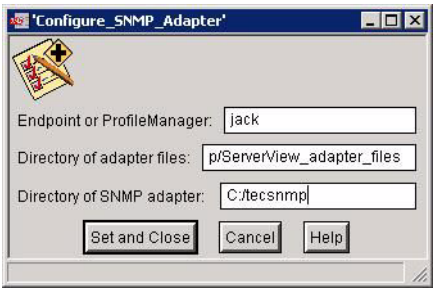


図 25: SNMP アダプタの設定ダイアログ

「Endpoint or ProfileManager 」フィールドで、アダプタがインストールされている富士通サーバのネットワーク名を入力します。プロファイルマネージャを入力した場合、そのサブスクライバすべてに適用されます。

手順 3

「Directory of adapter files」フィールドで、アダプタが実行されるマシン上のアダプタ設定ファイル（**.cds* および **.oid*）を指定します。この処理は、これらファイルとアダプタが現在使用しているファイルを 1 つにまとめます。
この処理が完了したら、「Set and Close 」ボタンをクリックします。この操作で、追加エントリが「Configure ServerView SNMP Event Adapter」タスク経由でファイルに加えられます。これは、「Audit File Name」フィールドで指定されたファイルへのログを再接続するためです。ログの追加情報については、ServerView 資料をご覧ください。

手順 4

「Directory of SNMP adapter」フィールドで、SNMP アダプタのインストールディレクトリを指定します。マシンで TME アダプタを使用する場合は、このファイルは空白のままでかまいません。

手順 5

完了したら、「Set and Close 」ボタンをクリックします。
「Configure_SNMP_Adapter (SERVERVIEW) Output」画面が開き、設定処理のログデータが表示されます。

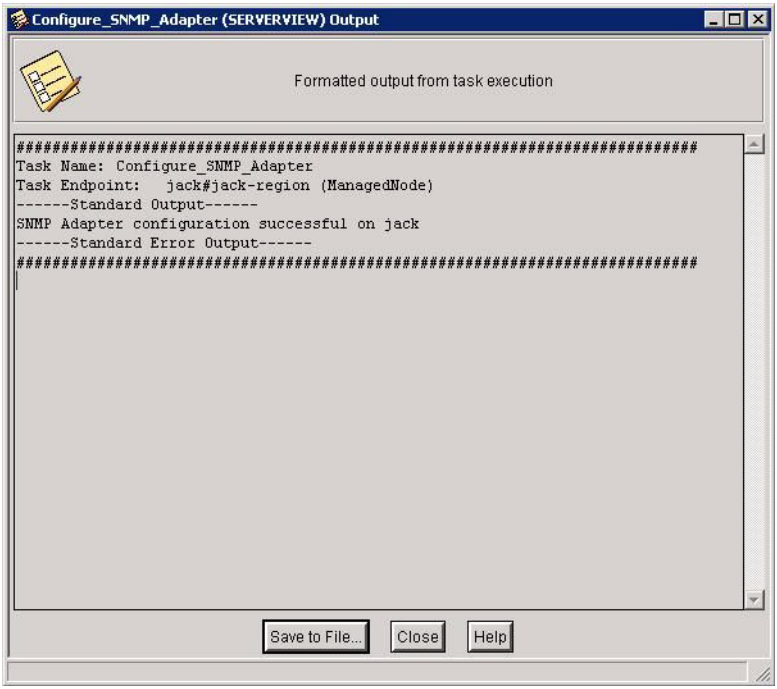


図 26: 設定処理のログデータ

4.4 SNMP アダプタの設定解除

「ServerView Plus for Tivoli」画面の「Unconfigure SNMP Adapter」アイコンをダブルクリックすると、指定した SNMP アダプタは ServerView 固有トラップの Tivoli Enterprise Console への転送を停止します。

設定解除するアダプタが実行されている富士通サーバは、Tivoli 管理対象ノード、または LCF エンドポイントである必要があります。また、複数のホストにあるアダプタを同時に設定解除することもできます。

手順 1

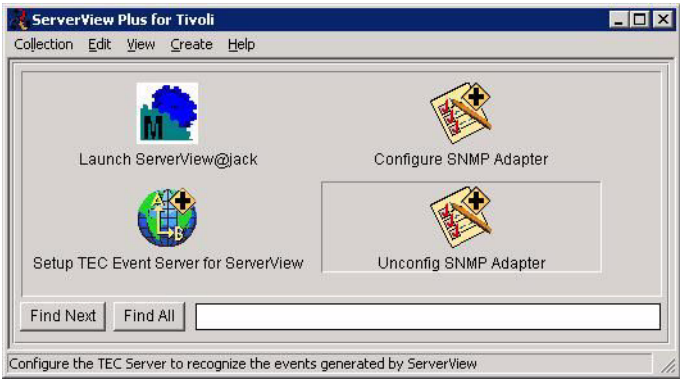

ServerView Plus for Tivoli
Collection Edit View Create Help
Launch ServerView@jack
Configure SNMP Adapter
Setup TEC Event Server for ServerView
Unconfig SNMP Adapter
Find Next
Find All
Configure the TEC Server to recognize the events generated by ServerView

図 27: 「ServerView Plus for Tivoli」画面

「ServerView Plus for Tivoli」画面で、「Unconfigure SNMP Adapter」アイコンをダブルクリックします。「Unconfig_SNMP_Adapter (SERVERVIEW) Output」画面が開きます。

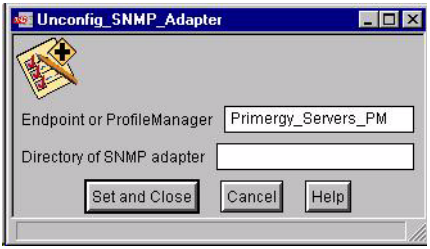


図 28: 「Unconfig_SNMP_Adapter」画面

手順 2

「Endpoint or ProfileManager」フィールドで、アダプタがインストールされている富士通サーバを入力します。プロファイルマネージャを入力した場合、そのサブスクライバすべてに適用されます。

手順 3

「Directory of SNMP adapter 」フィールドで、SNMP アダプタのインストールディレクトリを指定します。マシンで TME アダプタを使用する場合は、このファイルは空白のままでかまいません。

手順 4

完了したら、「Set and Close 」ボタンをクリックします。
「Unconfig_SNMP_Adapter (SERVERVIEW) Output」画面が開き、設定解除処理のログデータが表示されます。

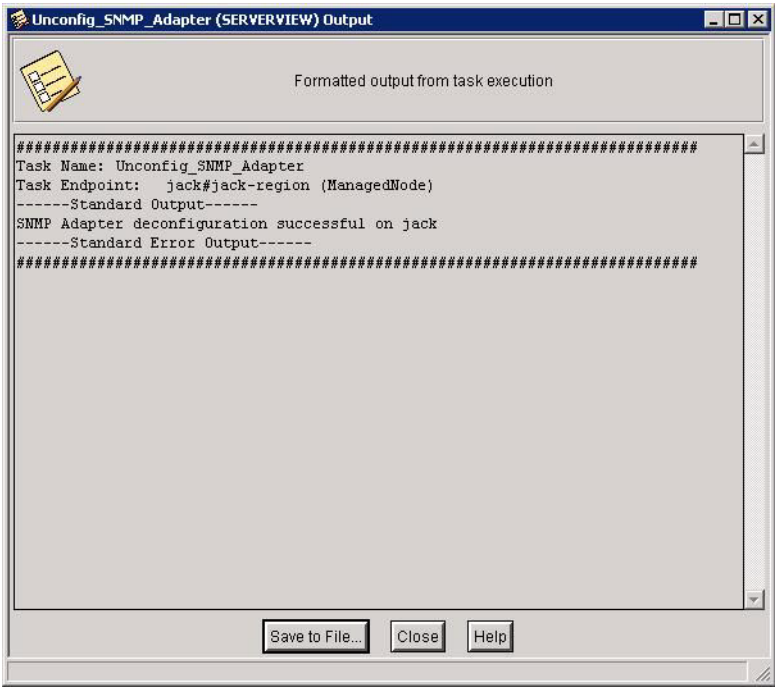


図 29: 設定解除処理の出力

5 Tivoli Inventory を使用した ServerView インベントリ

5.1 Tivoli Inventory を使用した ServerView インベントリデータの概要

ServerView Inventory Integration を設定後、「ServerView Plus for Tivoli」画面には追加で 2 つのアイコンが表示されます。

– 「PRIMERGY_inventory_pm」
PRIMERGY_inventory_pm プロファイルマネージャを開始します。

– 「PRIMERGY_HW_QUERIES」
ServerView インベントリデータのクエリを開始します。

図 30: Inventory Integration が設定された「ServerView Plus for Tivoli」

5.1.1 PRIMERGY_inventory_pm プロファイルマネージャ

「PRIMERGY_inventory_pm」プロファイルマネージャには、規定のプロファイル「PRIMERGY_HW」および「PRIMERGY_HW_SNMP」が含まれています。適切なサブスクライバ（正しく設定された ServerView エージェントが入っているシステム）に配布する場合、ServerView インベントリデータはそこで定義され、Tivoli 構成リポジトリへ転送されます。

– PRIMERGY_HW プロファイル

  このプロファイルは、ServerView エージェントから取得するインベントリデータを ServerView MIF ファイル内で定義します。これに対する前提要件は、ServerView MIF ファイルを生成する ServerView SMS エージェントを使用することです。

– PRIMERGY_HW_SNMP プロファイル

  このプロファイルでは、インベントリデータを ServerView SMS エージェントを使用せずに定義できます。プロファイルがサブスクライバへ配布された場合、ローカル SNMP 要求を使ってサブスクライバが ServerView エージェント経由でインベントリデータを収集します。インベントリデータはそれぞれの MIF ファイルで表示されます。

重要な ServerView インベントリデータは、これらプロファイル両方によって収集されるため、この 2 つのプロファイルにより収集されたインベントリデータには重複する部分があります。すべての ServerView インベントリデータを取得するには、両方のプロファイルを使う必要があります。ServerView SMS エージェントではなく、他の ServerView エージェントを使用した場合、PRIMERGY_HW_SNMP プロファイルのみを正常に使用できます。一方で、ServerView SMS エージェントのみを使用した場合、インベントリデータは PRIMERGY_HW プロファイルからのみ提供されます。

プロファイルの設定について、詳しくは 55 ページの「ServerView インベントリデータの収集」の項をご覧ください。

5.1.2 PRIMERGY_HW_QUERIES クエリライブラリ

「PRIMERGY_HW_QUERIES」クエリライブラリには、ServerView インベントリデータを検索するための規定クエリが含まれています。この 2 つの規定プロファイル（「PRIMERGY_HW」および「PRIMERGY_HW_SNMP」）により定義されたインベントリデータは該当するクエリを使って表示されます。

ServerView インベントリデータの収集および表示について、詳しくは、62 ページの「ServerView インベントリデータの表示」の項をご覧ください。

5.2 ServerView インベントリデータの収集

規定の PRIMERGY プロファイルを使って監視対象の富士通サーバ（サブスクライバ）の ServerView インベントリデータを収集するには、次を行ってください。

1. インベントリプロファイルを調整します（57 ページの「富士通サーバのインベントリプロファイルの調整」の項をご覧ください）。
2. インベントリプロファイルのサブスクライバを定義します（59 ページの「富士通サーバのインベントリプロファイルのサブスクライバの定義」の項をご覧ください）。
3. インベントリプロファイルを配布します（59 ページの「「PRIMERGY_HW」インベントリプロファイルの配布」の項をご覧ください）。

プロファイルマネージャを開始して、これら手順を実行します。「ServerView Plus for Tivoli」画面で該当するアイコンをダブルクリックし、プロファイルマネージャを開始します。

図 31: 「PRIMERGY_Inventory_pm」プロファイルマネージャ

5.2.1 富士通サーバのインベントリプロファイルの調整

富士通サーバのインベントリプロファイルを調整するには、関連するプロファイルのシンボルをプロファイルマネージャ画面で右クリックし、「Customize....」を選択します。

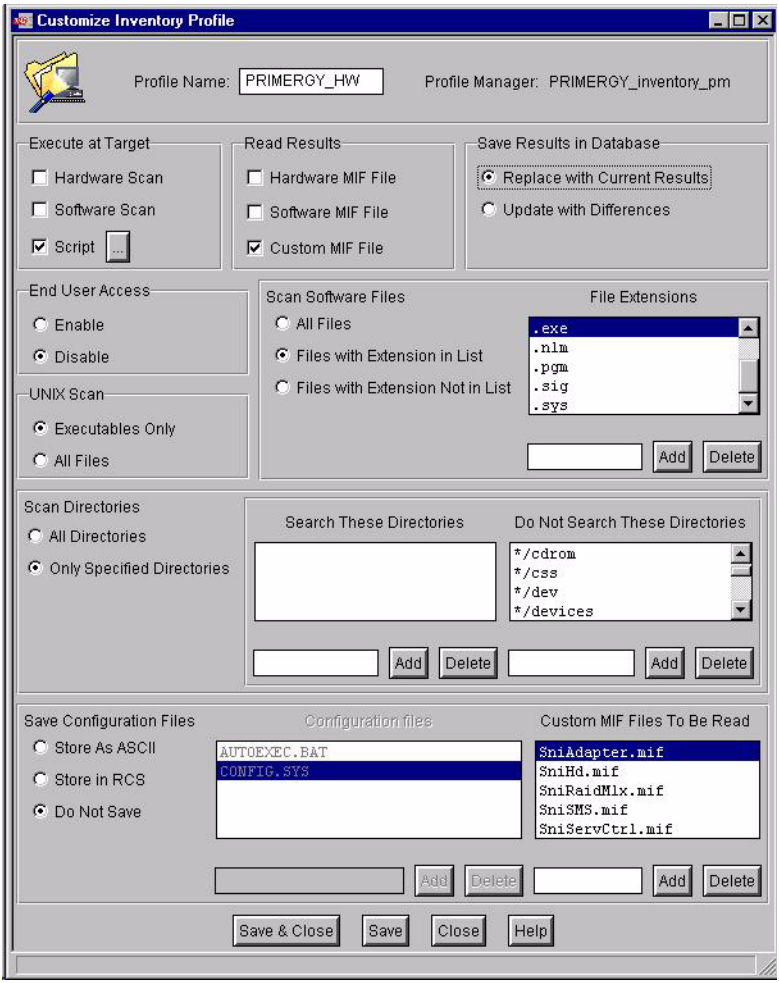


図 32: 「PRIMERGY_HW」インベントリプロファイルの調整

必要となる（実際の操作状況に合わせるための）主な調整を、次で説明します。

ServerView インベントリデータを収集する際、原則として他のフィールドは変更しないでください。追加のフィールドの意味については Tivoli Inventory の資料をご覧ください。

5.2.1.1 データベースへ結果を保存する

初めてインベントリデータをスキャンするときは、「Replace with Current Results」を選択してください。これは ServerView Integration の設定後のデフォルト設定でもあります。後日スキャンしている最中に、利用可能なデータを交換せず、変更事項のみをデータベースに保存する場合は、「Update with Differences」を選択してください。

5.2.1.2 カスタム MIF ファイルの読み込み

デフォルト設定では、ServerView により生成された MIF ファイルはすべて ServerView Integration の設定中に特定されます。しかし、すべての MIF ファイル内にサブスクライバシステムで生成されないものがある場合は、この選択を調整してください。例えば、システムに RAID が搭載されていない場合、*SniRaidMlx.mif* ファイルを「PRIMERGY_HW」プロファイルから削除してください。削除しないで利用できないデータをインベントリデータベースに格納しようとすると、該当するエラーメッセージが発生します。

ServerView エージェントが入っているシステムの一部に RAID が搭載されている場合、追加のプロファイル（できれば *SniRaidMlx.mif* ファイルが削除された PRIMERGY_HW プロファイルのクローン）を作成してください。すると、RAID を搭載したすべてのシステムは、元のプロファイルにサブスクライバとして割り当てられます。一方で、RAID を搭載していないシステムは新しいプロファイルに割り当てられます（プロファイルの作成および複製については Tivoli Inventory の資料をご覧ください）。

「PRIMERGY_HW_SNMP」プロファイルでは、今述べた手順に従わないでください。RAID を搭載していないシステム、または Mylex エージェントを実行していないシステムへこのシステムを配布する場合、プロファイルは空の MIF ファイル *sv_myles.mif* を生成します。これにより、プロファイルの配布が正常に完了します。

5.2.2 富士通サーバのインベントリプロファイルのサブスクライバの定義

プロファイルマネージャ画面のメニューから「Profile Manager」→「Subscribers...」の順に選択し、プロファイルのサブスクライバを定義します。

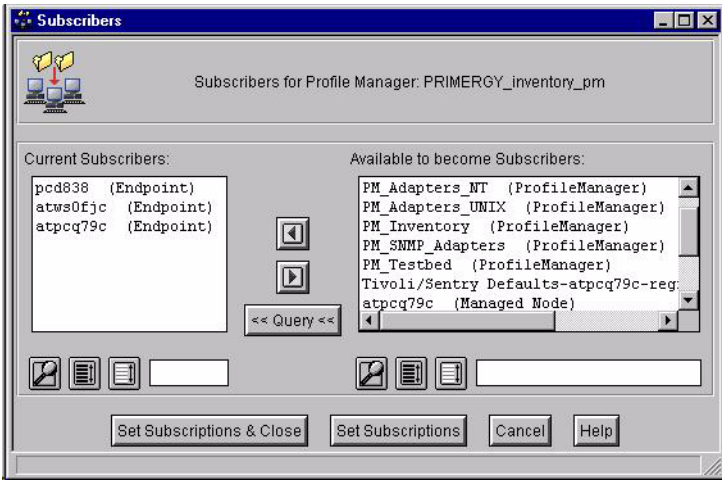


図 33: 「PRIMERGY_inventory_pm」インベントリプロファイルのサブスクライバ

サブスクライバの定義について、詳しくは Tivoli Inventory の資料をご覧ください。

5.2.3 「PRIMERGY_HW」インベントリプロファイルの配布

インベントリプロファイルは、個々に、またはまとめて配布できます。前提要件として、プロファイル「PRIMERGY_HW」および「PRIMERGY_HW_SNMP」が前述のとおり調整されており、また 1 つ以上のサブスクライバが定義されている必要があります。インベントリのプロファイルは次のとおり配布します。

手順 1

プロファイルマネージャ画面で、インベントリデータを収集するために必要なプロファイルとサブスクライバをマークします。

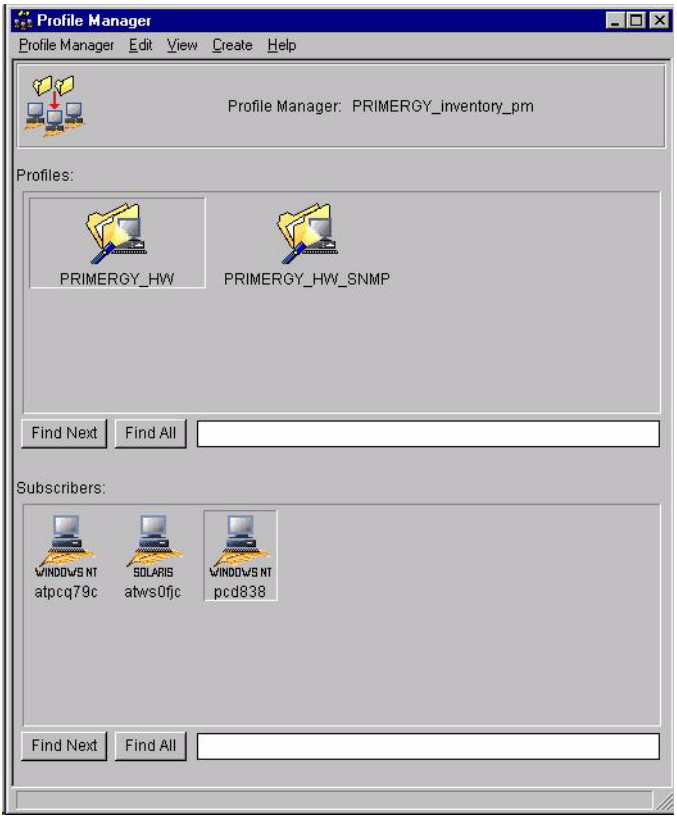


図 34: 「PRIMERGY_HW」インベントリプロファイルの配布

手順 2

プロファイルマネージャで、「Profile Manager」→「Distribute ...」の順にメニュー項目を選び、「Distribute Now」ボタンを使って次の画面を決定します。

図 35: プロファイルの配布メニュー

5.2.4 PRIMERGY_HW を正常に配布するための要件

「PRIMERGY_HW」インベントリプロファイルを正常に配布するには、サブスクライバは次の要件を満たす必要があります。

- バージョン 2.03 現在の ServerView SMS エージェント（SMS - システム管理システム）をインストールする必要があります。
- プロファイルで定義されたMIFファイルはSMSエージェントによって生成される必要があります。例えば、RAID が利用できず生成された RAID MIF ファイルが常に空の場合、*SniRaidMlx.mif* のエントリはプロファイル設定から削除する必要があります（58 ページの「カスタム MIF ファイルの読み込み」の項をご覧ください）。
- SMS エージェントを使って MIF ファイルを作成する際は、「Extended=2」設定を使用してください。詳しくは Tivoli Inventory の資料をご覧ください。
- MIF ファイル生成テンプレートは DMTF 基準に合わせて調整する必要があります。

ServerView エージェントについて、詳しくは ServerView インストールガイドをご覧ください。

「PRIMERGY_HW_SNMP」が正常に配布されるには、スキャン中に正しい SNMP コミュニティが既知になっている必要があります。他のコミュニティはそれぞれの Tivoli エンドポイントに対して次のファイルの最終行で定義できます。

```
$LCFDIR/inv/$SCANDIR/sv_snmp_community
```

「PRIMERGY_HW_QUERIES」クエリライブラリ内のクエリを使って、正常に収集された ServerView インベントリデータも表示するには、汎用ハードウェアスキャンを最低 1 回は実行する必要があります。2 つの PRIMERGY プロファイルのうちどちらか、または他のインベントリプロファイルで行えます。スキャンの順番は関係ありません。

5.3 ServerView インベントリデータの表示

「PRIMERGY_HW_QUERIES」シンボルをダブルクリックすると、クエリライブラリが開きます。このクエリライブラリには、ServerView インベントリデータを収集するための規定クエリー覧が含まれています。

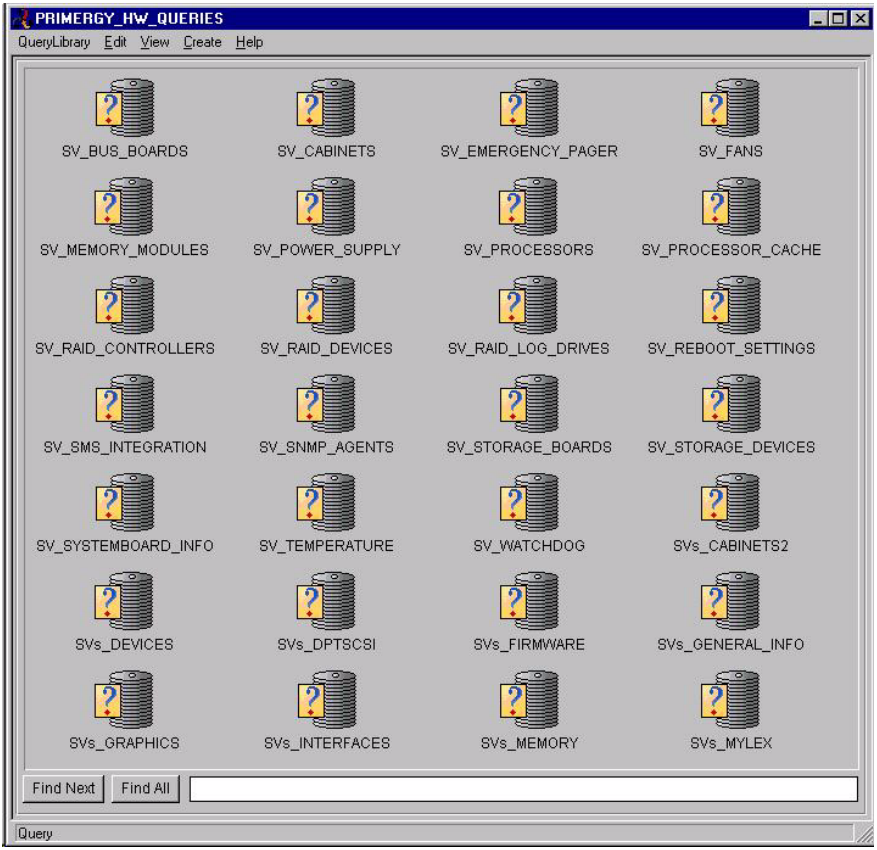


図 36: PRIMERGY HW_Queries

正常にクエリを実行するには、該当するデータがデータベース上で利用可能である（すなわち、「PRIMERGY_HW」プロファイルが適切なサブスクライバに前もって正常に配布されている）必要があります。利用可能ではない場合、例えば、「SV_BUS_BOARDS」クエリを実行する際、次のエラーメッセージが表示されます。

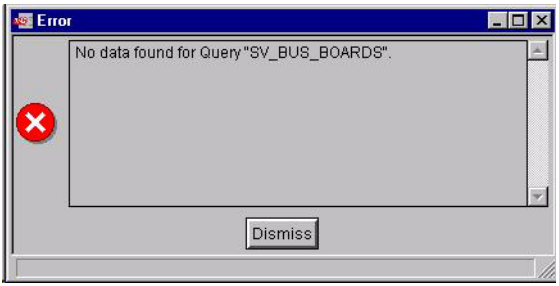


図 37: エラーメッセージ

データベース上で該当するデータを利用できる場合、クエリを実行すると次のデータを表を使って表示します。

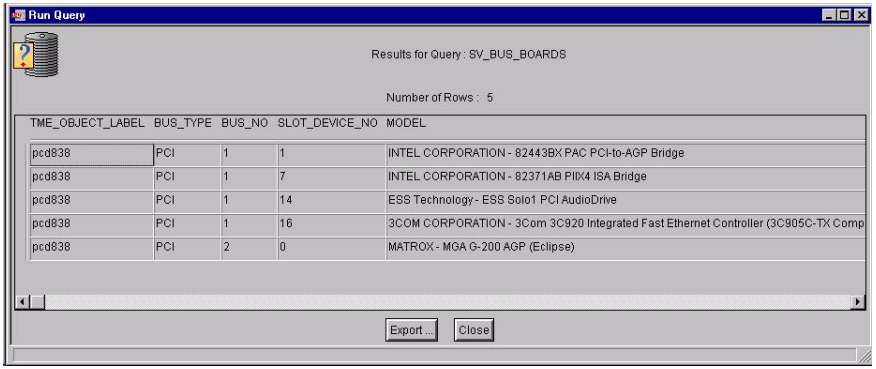


図 38: クエリの実行画面

5.4 Tivoli 構成リポジトリ

下層のリレーショナルデータベースに格納されている Tivoli 構成リポジトリは、Tivoli Inventory の基礎を形成します。ServerView インベントリデータを Tivoli Inventory に統合するために、必要に応じた様々なテーブルおよびビューが作成されます。作成されるテーブルやビューについては次の項で説明します。

5.4.1 ServerView の構成リポジトリテーブルおよびビュー

各 MIF グループは、データベースで該当するテーブルにマッピングされます。MIF グループの属性は付随的なカラムにマッピングされます。テーブルの正確な内容が入ったビューは、各テーブルのデータを表示するために存在します。ここには、OID および Tivoli オブジェクトデータベースからのシステムラベルも含まれます。

このようにして、例えば「PRIMERGY Peripheral Bus: Boards」テーブルおよび「PRIMERGY_BUS_BOARDS_VIEW」は、*SniAdapter.mif* からの MIF グループ「PRIMERGY Peripheral Bus: Boards」から取得されます。次では、すべてのテーブルおよびビューを一覧表示します。該当する MIF ファイルおよびその簡単な説明も表示します。便宜上、接尾辞 *PRIMERGY_* はテーブル名から省略されています。

テーブル／ビュー	MIF ファイル	説明
BUS_BOARDS	SniAdapter.mif	ISA ／ EISA ／ PCI アダプタの情報
CABINETS	SniServCtrl.mif	キャビネットの情報
EMERGENCY_PAGER	SniServCtrl.mif	非常ページャーの情報
FANS	SniServCtrl.mif	ファンの情報
MEMORY_MODULES	SniServCtrl.mif	メモリモジュールの情報
POWER_SUPPLY	SniServCtrl.mif	電源装置の情報および状態
PROCESSORS	SniServCtrl.mif	ベースボードプロセッサの情報
PROCESSOR_CACHE	SniServCtrl.mif	プロセッサキャッシュの情報
RAID_CONTROLLERS	SniRaidMlx.mif	Mylex RAID コントローラの情報
RAID_DEVICES	SniRaidMlx.mif	物理 RAID デバイスの情報
RAID_LOG_DRIVES	SniRaidMlx.mif	論理 RAID ドライブの情報
REBOOT_SETTINGS	SniServCtrl.mif	リブート設定の情報
SMS_INTEGRATION	SniSMS.mif	ServerView SMS Integration の情報
SNMP_AGENTS	SniSMS.mif	ServerView エージェントの情報および状態
STORAGE_BOARDS	SniHd.mif	大容量記憶装置ボードの情報
STORAGE_DEVICES	SniHd.mif	大容量記憶デバイスの情報
SYSTEMBOARD_INFO	SniServCtrl.mif	ベースボードの全般情報

テーブル／ビュー	MIF ファイル	説明
TEMPERATURE	SniServCtrl.mif	温度センサーの情報
WATCHDOG	SniServCtrl.mif	ウォッチドッグの情報
CABINETS2	sv_general.mif	キャビネットの情報
DEVICES	sv_general.mif	デバイスの情報
DPTSCSI	sv_general.mif	DPT SCSI コントローラの情報
FIRMWARE	sv_general.mif	利用可能なファームウェアの情報
GENERAL_INFO	sv_general.mif	全般情報
INTERFACES	sv_general.mif	インタフェースの情報
MEMORY	sv_general.mif	メモリモジュールの情報
MYLEX	sv_mylex.mif	Mylex RAID コントローラの情報

5.4.2 ServerView の構成リポジトリテーブルおよびカラム

次の項は、それぞれのカラムと共に Inventory データベースで定義されたテーブルすべてを登録します。

テーブルの説明は、Inventory 3.6 に対応しています。Tivoli Inventory リポジトリのデータベース構想が Inventory 4.0 で修正されたため、「HARDWARE_SYSTEM_ID」カラムは「COMPUTER_SYS_ID」カラムに変更されました。さらに「CONFIG_CHANGE_TYPE」および「CONFIG_CHANGE_TIME」カラムは Inventory 4.0 には存在しません。

```
Table   PRIMERGY_BUS_BOARDS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        BUS_TYPE
        BUS_NO
        SLOT_DEVICE_NO
        MODEL
        TYPE
        BOARD_ID

Table   PRIMERGY_CABINETS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CABINET_INDEX
        CABINET_TYPE
        CABINET_ATTRIBUTE
        CABINET_IDENT_NO
        SYSTEMBOARD_TYPE
```

```
        SYSTEMBOARD_SERIAL_NO
        TEMPERATURE_SENSORS
        FANS
        POWER_SUPPLY_SLOTS
        MINIMUM_POWER_SUPPLIES

Table   PRIMERGY_EMERGENCY_PAGER
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        USER_INDEX
        TYPE
        USER_NAME
        USER_DESCRIPTION
        USER_ACTIVE
        SIZE_BYTES
        PAGER_NO
        SERVICE_PROVIDER_NO

Table   PPRIMERGY_FANS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CABINET_INDEX
        FAN_INDEX
        FAN_PURPOSE
        FAN_FAIL_REACTION
        FAN_FAIL_SHUTDOWN_DELAY_SEC
```

```
Table   PRIMERGY_MEMORY_MODULES
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        MODULE_INDEX
        MEMORY_BANK
        STATUS
        START_ADDRESS
        SIZE_BYTES

Table   PRIMERGY_POWER_SUPPLY
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CABINET_NO
        POWER_SUPPLY_NO
        POWER_SUPPLY_STATUS

Table   PRIMERGY_PROCESSORS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        INDEX_NO
        TYPE
        STATUS
        FAMILY
        MODEL
        STEP
        CURRENT_SPEED_MHZ
```

```
Table   PRIMERGY_PROCESSOR_CACHE
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        INDEX_NO
        LEVEL_
        SIZE_KB
        WRITE_POLICY

Table   PRIMERGY_RAID_CONTROLLERS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CONTROLLER_NO
        VENDOR
        MODEL
        BUS_TYPE
        SLOT_NO
        BASE_ADDRESS
        IRQ
        FIRMWARE_VERSION
        BIOS_VERSION
        REBUILD_RATE
        SCSI_CHANNELS
        LOGICAL_DRIVES
        PHYSICAL_DEVICES
        MAX_LOGICAL_DRIVES
        MAX_PHYSICAL_DEVICES
```

```
        CACHE_SIZE_KB
        FLASH_EEPROM_SIZE_KB
        STRIPE_SIZE_B
        LOGICAL_SECTOR_SIZE_B
        PHYSICAL_SECTOR_SIZE_B

Table   PRIMERGY_RAID_DEVICES
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CONTROLLER_NO
        CHANNEL
        TARGET_ID
        MODEL
        CAPACITY_MB
        DEVICE_TYPE

Table   PRIMERGY_RAID_LOG_DRIVES
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CONTROLLER_NO
        DRIVE_NO
        SIZE_MB
        RAID_LEVEL
        PHYSICAL_SIZE_MB
        CACHE_WRITE_POLICY
```

```
Table   PRIMERGY_REBOOT_SETTINGS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        RESTART_RETRY_COUNTER
        REBOOT_FAIL_OPTION
        ERROR_RESTART_MINUTES
        REBOOT_FAIL_PAGER
        LAST_OFF_REBOOT_REASON

Table   PRIMERGY_SMS_INTEGRATION
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        SERVERVIEW_SMS_AGENT
        SMS_INTEGRATION_VERS
        SNMP_AGENTS_VERSION

Table   PRIMERGY_SNMP_AGENTS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        OID
        NAME
        PURPOSE
        STATUS
```

```
Table   PRIMERGY_STORAGE_BOARDS
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        BUS_TYPE
        BUS_NO
        ADAPTER
        BOARD_NAME
        SLOT_DEVICE_NO

Table   PRIMERGY_STORAGE_DEVICES
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        BUS
        BUS_NO
        ADAPTER
        DEVICE
        NAME
        TYPE
        SMART_COMPLIANT
        SMART_MONITORING
        SMART_STATUS

Table   PRIMERGY_SYSTEMBOARD_INFO
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
```

```
        VENDOR
        BOARD_ID
        BOARD_SERIAL_NO
        PHYSICAL_MEMORY_MB
        SYSTEM_BIOS_VERSION

Table   PRIMERGY_TEMPERATURE
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CABINET_INDEX
        SENSOR_INDEX
        SENSOR_PURPOSE
        WARNING_TEMPERATURE
        CRITICAL_TEMPERATURE
        CRITICAL_TEMP_REACTION

Table   PRIMERGY_WATCHDOG
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        HW_WATCHDOG_TIME_SEC
        HW_WATCHDOG_ENABLED
        HW_WATCHDOG_ACTION
        SW_WATCHDOG_TIME_MIN
        SW_WATCHDOG_ENABLED
        SW_WATCHDOG_ACTION
```

```
Table   PRIMERGY_CABINETS2
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        CABINET_ID
        IDENT_NO
        BOARD_ID
        SYSTEM_NAME
        HOUSING_TYPE

Table   PRIMERGY_DEVICES
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        BUS_TYPE
        BUS_NO
        ADAPTER_NO
        DEVICE_NO
        NAME
        TYPE
        RAW_NAME
        CAPACITY

Table   PRIMERGY_DPTSCSI
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        HBA_NUMBER
        BUS_NUMBER
```

```
        BUS_TYPE
        SCSI_ID
        SCSI_LUN
        SCSI_LEVEL
        SCSI_MODEL
        SCSI_CAPACITY_MB
Table   PRIMERGY_FIRMWARE
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        INFO_NO
        VENDOR
        PRODUCT
        PRODUCT_NO
        PRODUCT_DESCRIPTION
        VERSION
        PRODUCT_DATE
        SERIAL_NO

Table   PRIMERGY_GENERAL_INFO
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        HOSTNAME
        HOST_OS
        SERVER_HOUSING
        CPU_SOCKETS
        MEMORY_MODUL_SOCKETS
```

```
        PCI_BUS_NO
        PCI_SLOTS

Table   PRIMERGY_INTERFACES
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        INDEX_NO
        DESCRIPTION
        TYPE
        MAC_ADDRESS
        STATUS

Table   PRIMERGY_MEMORY
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        MODULE_NO
        SIZE_BYTES
        TYPE
        TYPE2
        MEMORY_SOCKETS

Table   PRIMERGY_MYLEX
        HARDWARE_SYSTEM_ID
        CONFIG_CHANGE_TYPE
        CONFIG_CHANGE_TIME
        INDEX_NO
```

```
BUS_TYPE
CLASS
CONFIGURED_CHANNELS
ACTUAL_CHANNELS
CACHE_SIZE_MB
CACHE_SIZE_KB
PHYSICAL_DEVICES
LOGICAL_DEVICES
```

6 統合される ServerView MIB ファイル

トラップは、SNMP プロトコルデータのアラーム信号で、SNMP エージェントから管理センターへ送信されます。アラーム信号には、予期しないイベントの情報（例：故障報告または状態変化など）が含まれます。予期しないイベントは、選択したしきい値を超過した場合に発生します。

これらイベントの定義は MIB ファイルに入っています。次の表は、考えられる MIB の概要を提供します。

MIB 名	ファイル名
Adaptec Raid MIB	AAC.MIB
ADIC Device Trap MIB	ADICLIBMIB-v2.mib
Acer Advanced ServerManager MIB	ASMPRO.MIB
Broadcom Advanced Server Trap MIB	baspTrap.mib
Centric Store FS	CentricStor-FS.MIB
CLARiiON Storage System Traps	CLARIION_FSC_2.MIB
FibreCat MIB	CLARIION1.MIB
Rittal CMC MIB	CMC32.MIB
Rittal CMC-TC MIB	CMC-TC.MIB
Compaq Host Information MIB	CPQHOST-MIB.MIB
DuplexDataManager MIB	DDM.MIB
Compaq STEAM Agent MIB	DEC.MIB
DeskView Trap MIB	DESKTRAP.MIB
Dot Hill FibreCat Trap MIB	DHTRAPS.MIB
DPT SCSI / Raid controller MIB	DPTSCSI.MIB
Adaptec Duralink MIB	DURALINK.MIB
DuplexWrite MIB	DW.MIB
Fjdary-E60 extended-MIB	DX60_80.mib
Egenera Integration Solution MIB	egeneraV1.mib
Entity RFC 2737 MIB	ENTITY-RFC2737V1.MIB
Eurologic StorageManager MIB	EUROLOGIC.MIB

表 4: 統合された ServerView MIB の一覧

MIB 名	ファイル名
Fujitsu LDSM Trap MIB	F5EMT2O.MIB
Fibre Channel Mgmt MIB	FCMGMT-MIB.mib
Fibre Channel Switch MIB	FCSWITCH.MIB
Fibre Cat_TX_S2 MIB	FibreCat_TX_S2.mib
Fjdary-E50 extended-MIB	FJDARY-E4kM500.mib
Fujitsu Siemens KVMS3 TRAP MIB	FSC-KVMS3-TRAP.mib
Fujitsu Siemens RCA4Plus - Trap MIB	FSC-RCA4PLUS-TRAP.mib
Avocent KVM Traps	FSC-S21611-TRAP.mib
High Availability MIB	HA.mib
Mass Storage (Harddisk) MIB	HD.MIB
Hardware Platform Interface MIB	HPI-MIBV1.MIB
Intel LAN adapters MIB	INTELLAN_V1.mib
Adaptec StorageManager MIB	IOMMIB.MIB
LANDesk ClientManager MIB	LDCM.MIB
LANDesk ServerManager MIB	LDSM.MIB
Link Incident MIB	LINK-INCIDENT.MIB
LSI Integrated Mirroring MIB	Lsi1030.mib
LSI Hance Rapid MIB	LSIRAID-IDE.mib
ExaByte MIB	MatrixLibraryMib.mib
AMI Raid MIB	MEGARAID.MIB
Mylex Raid MIB	MLXRAID.MIB
MIB for PRIMEQUEST	MMB-COM-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	MMB-ComTrap-MIB.mib
Multipath MIB	MP.MIB
FSC's Mylex Raid MIB	MYLEX.MIB
Network Appliance MIB	NETAPP.MIB
Linux / Net-SNMP MIB	net-snmp.mib
Network Appilance MIB	NETAPP.MIB

表 4: 統合された ServerView MIB の一覧

MIB 名	ファイル名
NT Cluster MIB	NTCluster.MIB
PCI hot plug MIB	PciHotPlug.mib
APC Powernet UPS MIB	Powernet.mib
PPC UPS MIB	PPC.MIB
Promise Unified Raid MIB	PROMISERAID.MIB
Promise IDE Raid MIB	PROMISEV1.MIB
MIB for PRIMEQUEST	PSA-COM-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-ComTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-ExternalFileUnitTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinBcm5700Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinEmulexTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinGdsTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinGlsTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinGrmpdTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinIntelE1000Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinIntelE100Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinLanComTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinLsiLogicTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LIN-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinScsiComTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinTg3Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinBcm5700Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinEmulexTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinIntelE1000Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinIntelE100Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinLsiLogicTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WIN-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinIbTrap-MIB.mib

表 4: 統合された ServerView MIB の一覧

MIB 名	ファイル名
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinIntelE1000ETrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinIntelIgbTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinSvsRaidTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-LinXframe2Trap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinDiskMirrorTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinDiskTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinMpdTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinSvsRaidTrap-MIB.mib
MIB for PRIMEQUEST	PSA-WinXframe2Trap-MIB.mib
FSC RAID MIB	RAID.mib
Siemens MIB-II Ethernet MIB	RFC1157.MIB
Standard UPS MIB	RFC1628.MIB
Rittal Rack Mib	RMS-C_SNMPv1_contact.mib
Rittal Rack Mib	RMS-C_SNMPv1_humid1.mib
Rittal Rack Mib	RMS-C_SNMPv1_humid2.mib
Rittal Rack Mib	RMS-C_SNMPv1_main.mib
Rittal Rack Mib	RMS-C_SNMPv1_output.mib
Rittal Rack Mib	RMS-C_SNMPv1_temp2.mib
ROMPilot MIB	ROMPILOT.MIB
Blade Server MIB	S31.MIB
Pathlight MIB	SANMGRV1.MIB
Server Control MIB	SC.MIB
New Server Control MIB	SC2.MIB
Fujitsu ServerVisor MIB	SERVERVI.MIB
ServerView Application MIB	ServerView.mib
Status MIB	Status.mib
HP Tape Alert MIB	TAPEALRT.MIB
FSC PerformanceManager Mib	Threshold.mib

表 4: 統合された ServerView MIB の一覧

MIB 名	ファイル名
Trap MIB	TRAP.MIB
RFC1493 Trap MIB	TRAP1493.MIB
RFC1757 Trap MIB	TRAP1757.MIB
ACCTON Switch Trap MIB	UNICORN-TRAP.MIB
UPS Manager MIB	UPSMAN.MIB
FSC HACL MIB	V1-FSCHACL.MIB
VMWare Traps MIB	VMWARE-TRAPS-MIB.mib
Intel WFM MIB	WFM.MIB
FSC x10sure MIB	x10sureV1.mib

表 4: 統合された ServerView MIB の一覧

バージョンによるト ラップ／イベントの対応についての概要は、ファイルに記載されています。このファイルは TME サーバのディレクトリ *%BINDIR%¥generic_unix¥TME¥PLUS¥SERVERVIEW* をご覧ください。

7 トラブルシューティング

この章では、発生する可能性があるアプリケーションとサービスエラー、およびその解決方法についての情報を提供します。

7.1 TEC に ServerView イベントが表示されない

送信された ServerView トラップが TEC 画面に表示されない場合、この項で説明する手順を使ってこの問題を解決します。

7.1.1 サーバをトラップレシーバとして設定する

SNMP アダプタを実行するサーバは、トラップレシーバとして設定する必要があります。

「ServerView/Plus Module」リリースノートに記載されている「Windows での SNMP トラップサービス」および「同一システムでの ServerView フロントエンド & TEC SNMP アダプタの実行」の項をお読みください。

ServerView エージェントのトラップが SNMP アダプタで受信されたかを確認するには、SNMP アダプタをデバッグモードで直接次のコマンドを使って開始します。

```
bin\tecad_snmp.exe -d -c etc\tecad_snmp.conf
```

7.1.2 SNMP アダプタとイベントサーバ間の通信

SNMP アダプタとイベントサーバ間の通信をテストするには、SNMP アダプタを使ってシステムのコマンド行に次を入力します。

```
wpostmesg -f ...\etc\tecad_snmp.conf -m “Test message”
TEC_Notice xxx
```

イベント「Test message」が TEC に表示されます。このイベントが表示されない場合は、アダプタ全般の設定を確認します。

説明した方法で通信を確認できない場合は、Tivoli プログラム「wpostmesg」をイベントサーバから Tivoli エンドポイントへコピーし、再試行します。

7.1.3 SNMP アダプタの設定

ServerView トラップを受信するには、SNMP アダプタを正しく設定する必要があります。これは、ServerView クラスの定義が SNMP アダプタの設定（*tecad_snmp.cds* および *tecad_snmp.oid*）内に存在している必要があることを意味します。SNMP アダプタの設定を確認するには、次のとおり行います。

手順 1

タスク「Configure SNMP Adapter」を開始します。

手順 2

次のコマンド行を入力します。

```
wtdumprl -t "Jan 22 09:00:00 2005"
```

TEC で表示する日付以降に受信されたイベントすべてが表示されます。SNMP アダプタがデバッグモードで受信したイベントがここに一覧表示されていない場合、アダプタ設定（*.cds*、*.oid*）が間違っています。*wtdumprl* を使用し、コメント「parsing failed」が表示される場合、イベントは現在の TEC ルールベースでは定義されません。この場合、TEC GUI には表示されません（次の項をご覧ください）。

7.1.4 TEC の設定

ServerView クラスの定義が現在のルールベースに存在する場合、TEC は正しく設定されています。ルールベースを設定するには、タスク「Setup TEC Event Server for ServerView」を開始します。ServerView イベントを TEC 上に表示するには、設定された TEC ルールベースを使用してください。

7.2 SNMP アダプタの設定のエラーメッセージ

「Endpoint: <Endpoint name> not running at the moment!」が表示された場合、Tivoli エンドポイントにアクセスできないことを意味します。エンドポイントクライアントが開始されているか、またはエラーが発生していないかを確認します。

7.3 クエリ実行時のエラーメッセージ

PRIMERGY クエリの実行中にエラーメッセージ「クエリ「<xxx>」のデータが見つかりません」が発生した場合は、次の原因が考えられます。

- 選択したクエリに利用できるデータはインベントリリポジトリ内にありません。これは、関連する富士通サーバのインベントリプロファイルが配布されていない、または該当するコンポーネント（例：Mylex エージェント）が使用されていないためです。
- 汎用 Tivoli ハードウェアスキャンがまだ実行されていません。

7.4 「Setup TEC Event Server for ServerView」のエラーメッセージ

タスク「Setup TEC Event Server for ServerView」を実行した後に、「New <xxx> rulebase does not compile」および「Superclass Specific SNMP Trap does not exist」で始まるエラーメッセージが長いリストで表示される場合、原因は次のとおりです。

ServerView クラスの定義は、一般的な SNMP クラス「specific_SNMP_trap」から取得します。これは、順番に Tivoli ファイル *tecad_snmp.baroc* で定義されます。

ServerView イベントのルールベースを設定、または複製するときはいつでも、*tecad_snmp.baroc* ファイルが含まれていることを確認します。

索引

E
Enterprise Console
　イベント管理　41

S
ServerView
　起動　37
ServerView Operations Manager
　起動　38
ServerView/Plus
　アンインストール　30
　削除　30
SNMP アダプター
　設定　47, 86

T
TEC
　設定　86
Test message　85
Tivoli Enterprise Console サーバ
　セットアップ　41

あ
アイコン　33
アプリケーションエラー　85

い
イベントアダプター　14
イベント管理　41
イベント管理の設定　41
イベントコンソール　14
イベントサーバ　14
イベントサーバのセットアップ　42
インストール
　SNMP アダプター　47
　コマンド行から　29
　デスクトップから　19
インストール要件　15

き
起動
　ServerView　37
　ServerView Operations Manager　38
　ServerView/Plus for Tivoli モジュール　34

さ
サブスクリプションリスト　34

し
新規ルールベースの作成　44

せ
設定　33
　SNMP アダプター　47

そ
操作エラー　85
ソフトウェア要件　15

つ
通信
　SNMP アダプターとイベントサーバ　85

と
トラブルシューティング
　操作エラー　85
　アプリケーションエラー　85

は
ハードウェア要件　16

ふ
プロファイルマネージャ　34

ほ
本書の対象者　10

ゆ
有効化 ,ServerView integration のア
　イコン　33

る
ルールベース　44, 45

れ
レシーバ
　設定　85